

保存版

# 本宮市



危険を事前に知ろう。

# 防災 マップ2022



大規模な河川氾濫をもたらした令和元年東日本台風（阿武隈川）本宮市



市民の皆様へ・索引 p.1

風水害対策 p.2

洪水情報 p.3

土砂災害情報 p.4

地震対策 p.5

わが家の地震対策&チェック p.6

特別警報をご存知ですか?・火災対策 p.7

避難行動ガイド①  
避難行動ガイド② p.8

避難行動判定フロー p.10

本宮市タイムライン p.11

マイタイムライン p.12

非常時持出品の準備&チェック p.13

感染症対策 p.14

指定緊急避難場所・指定避難所一覧 p.15

洪水・土砂災害ハザードマップ p.17

安達太良山の火山ハザードマップ p.35

ため池ハザードマップ p.38

本宮市防災ラジオ・Jアラート p.54

伝達ルート・災害伝言ダイヤルの使い方・気象・防災情報 巻末

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

11 住み続けられるまちづくりを



13 気候変動に具体的な対策を



# 市民の皆様へ

## 『防災は、一人ひとりの備えと助け合い』

本宮市では、令和元年東日本台風(台風第19号)において、7名の尊い命が失われ、住家、事業所など1,400棟を超える浸水被害が発生しました。さらに、令和3年2月には、東日本大震災(平成23年3月)を思い出させるような福島県沖地震が発生し、台風災害から復興を進めていた本市にも大きな被害をもたらしました。

近年では、全国各地で、甚大な被害をもたらす自然災害が、毎年のように発生していることから、災害は起こりうるものととらえ、対応していかなければなりません。

災害から命を守り、被害をできるだけ少なくするためには、市や消防署、警察署などの「公助」だけでなく、市民の皆さま一人ひとりが自ら取り組む「自助」と地域住民がお互い助け合いながら取り組む「共助」が非常に重要になります。

いつ、どこで起こるかわからない災害に適時適切に対応するためには、まず自宅や勤め先などで想定される災害リスクを知り、それに備えておく必要があります。

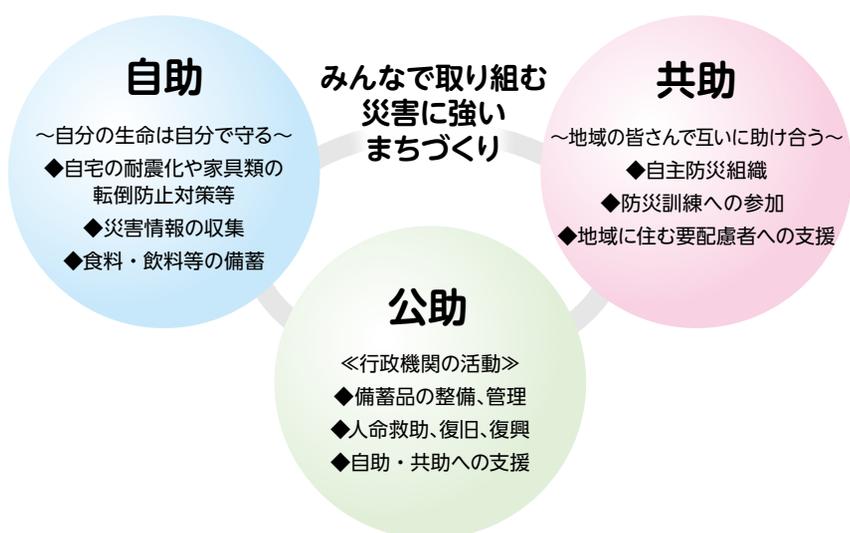
この度、本市で想定される洪水や土砂災害、ため池や火山による災害をはじめ、様々な防災情報などを取りまとめた「本宮市防災マップ」を作成いたしました。

この防災マップで災害のリスクを把握し、日頃から、自分の家などの安全対策や災害時に出される防災気象情報の収集方法などを理解しておきましょう。

そして、災害の発生を想定しながら、“自分にあった”避難行動「マイ避難」をはじめ、時間の経過に応じた自らの防災行動「マイ・タイムライン」を考えるなど、いざというとき慌てずに行動を起こせるよう、平時から家族や地域の皆さんでいっしょに話し合いながら、災害への備えを進めていただきたいと思います。

一人ひとりの備えはもちろん、地域の皆さんで助け合うことが、自分の命、大切な人の命を守ることに繋がります。

令和4年 本宮市



## 索引

市民の皆様へ・索引	P1	本宮市全体図	P17・18	ため池【③二ツ池上・二ツ池下】【④年中池・錫杖池】	P42
風水害対策	P2	詳細図No.1	P19・20	ため池【⑤新池(青田)】【⑥大谷池】	P43
洪水情報	P3	詳細図No.2	P21・22	ため池【⑦年中池・錫杖池・新池(青田)・大谷池】 【⑧蛇ノ鼻(上ノ池)・蛇ノ鼻(中ノ池)・蛇ノ鼻(下ノ池)】	P44
土砂災害情報	P4	詳細図No.3	P23・24	ため池【⑨兼谷池】【⑩寺池】	P45
地震対策	P5	詳細図No.4	P25・26	ため池【⑪鳥足池】【⑫滝ノ入池・中滝池】	P46
わが家の地震対策&チェック	P6	詳細図No.5	P27・28	ため池【⑬寺池・鳥足池・滝ノ入池・中滝池】【⑭重石池・大池】	P47
特別警報をご存知ですか?・火災対策	P7	詳細図No.6	P29・30	ため池【⑮大谷戸溜池】【⑯安達疎水溜池】	P48
避難行動ガイド① 避難行動ガイド②	P8・P9	詳細図No.7 詳細図No.8	P31・32 P33・34	ため池【⑰荒池(糠沢)】【⑱礼堂池・八幡田池】	P49
避難行動判定フロー	P10	安達太良山の火山ハザードマップ	P35・36	ため池【⑲西笹田池】【⑳沢口池】	P50
本宮市タイムライン	P11	噴火警戒レベル	P37	ため池【㉑栗ノ木平池】【㉒金池】	P51
マイタイムライン	P12	ため池ハザードマップ	P38	ため池【㉓大岩入池】【㉔滝池】	P52
非常時持出品の準備&チェック	P13	本宮市防災重点農業用 ため池全体図	P39・40	ため池【㉕谷戸池】	P53
感染症対策	P14			本宮市防災ラジオ・Jアラート	P54
指定緊急避難場所・ 指定避難所一覧	P15・16	ため池【①茗荷池】 【②荒池(岩根)・三池】	P41	伝達ルート・災害伝言ダイヤルの使い方・ 気象・防災情報	巻末

# 風水害対策

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
 undanから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力しましょう。



まずは、  
 確実な情報が大事  
 その次に迅速な対応

## 大雨情報をキャッチ！ こんなときのわが家の安全対策

### 大雨注意報・警報の 発表基準

### 大雨注意報

大雨によって災害が起こる  
 おそれがあると予測される場合

### 大雨警報

大雨によって重大な災害が起こる  
 おそれがあると予測される場合

### 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要

### 風の強さと吹き方

(平均風速:m/秒)

10以上～15未満	15以上～20未満	20以上～30未満	30以上～
やや強い風	強い風	非常に強い風	猛烈な風
風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。	風に向かって歩けない。転倒する人もいる。	何かにつかまっていないと立ってられない。飛来物によって負傷するおそれがある。	立ってられない。屋外での行動は危険。樹木が根こそぎ倒れはじめる。

### 竜巻から身を守る

#### 竜巻の発生・接近を確認した時の退避行動

#### 屋内の退避行動



雨戸、窓、カーテンを閉める。  
 窓からはなれる。

#### 屋外の退避行動



屋内に退避する。

—大雨や雷に遭う可能性も高いので、早めに退避！  
 —人が集まる屋外行事、テントの使用、高所・クレーン・足場等での作業をしている場合は、早めに避難！

出典：気象庁リーフレット「竜巻から身を守ろう！～自ら身を守るために～」  
 (<http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/tatsumaki201408/index.html>)  
 を一部抜粋して作成しています。

### 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域に、突発的に短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- テレビ・ラジオなどの気象情報に注意する。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 市や防災関係機関の広報をよく聞いておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 危険な地域では、いつでも避難できるように準備をする。

つねに気象情報には、  
 注意して  
 おきましょう！



#### 地下道(アンダーパス)に注意！

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する場合、その下を通る地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます(普通車の場合、約30cmの浸水で走行が困難)。アンダーパスのある場所では、無理せずに迂回しましょう。

本宮市には、アンダーパス(地下道)が複数あります。事前に地図で確認しておきましょう。地図には  このようなマークで表示しています

# 洪水情報

以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

洪水とは、豪雨によって河川の水量が急激に増加し異常な流量になることをいいます。堤防が破堤したときには、水の力は非常に強いので避難の時期を誤らないよう早めの対応が必要です。

## 外水はん濫 (がいすいはんらん)



大雨などによって、川の水が増え、水かさが増え始めます。



堤防いっぱいまで水が増えると、川の水が溢れ出します。



溢れ出した水により、堤防の一部が崩れ始めます。



崩れた場所を通り、勢いよく水が流れ出します。

## 内水はん濫 (ないすいはんらん)



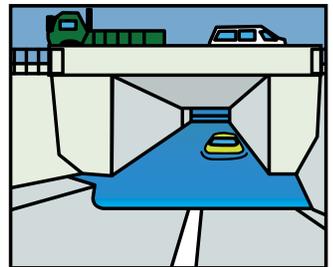
街などに降った雨は、排水路などを通して川に排水されます。



大雨が降ると川の水位があがり、排水されにくくなり、排水路などがあふれてしまいます。



大雨が降ったとき、道路の側溝にゴミなどが詰まり、排水されずに道路が冠水します。

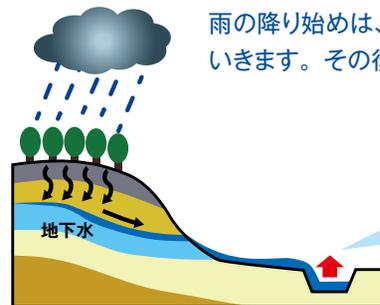


高速道路や鉄道の高架下など道路が低くなっている所や、地下道などに雨水がたまり冠水します。

### 通常の水面上昇

### 長雨による洪水の発生過程

雨の降り始めの状態で見ると、地表面へと降った雨は、地中へと浸透していきます。その後、地表面が飽和した状態になると、雨は地表面を流れ出します。なお、雨が地表面を流れ出すまでの時間は、地表面がどれだけ水分を含んでいるかによって変わります。また、河川の水位は、ゆっくりと上昇します。



雨の降り始めは、雨水が地中へと浸透していきます。その後、地表面を流れ出します。

河川の水位は、ゆっくりと上昇します。

### 急激な水面上昇①

### 集中豪雨による洪水の発生過程

短時間に集中的に降る雨による洪水の発生過程は、通常の降雨状態と様相が異なります。豪雨時には、地中へ浸透する雨の量よりも地表面を流れる雨の方が多いため、通常の降雨状態に比べて、洪水が発生するまでの時間が短くなります。また、河川水位も急に上昇する傾向にあります。



豪雨の場合、地表面を流れる雨の量が、通常の降雨に比べ多くなります。

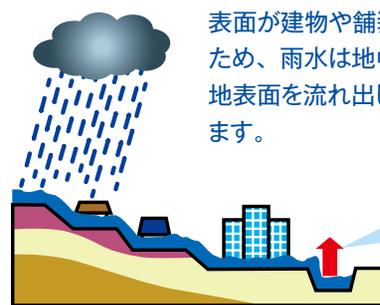
このため、洪水が発生するまでの時間が短くなります。

河川の水位は、通常の降雨状態に比べ、急激に上昇します。

### 急激な水面上昇②

### 都市部による洪水の発生過程

地表面の状況が人工的に変化すると、洪水の様子にも大きな影響を与えます。例えば、森林や水田が宅地が変わったり、地表面が建物や舗装によって覆われることによって、雨水の地中への浸透がなくなったりするため、降った雨のほとんどが短時間で川に達します。



表面が建物や舗装によって覆われているため、雨水は地中へと浸透せず、地表面を流れ出します。

洪水は短時間で発生し、河川の水位も急激に上昇します。

# 土砂災害情報

土砂災害警戒情報が発表されていなくても、ふだんと異なる状況「土砂災害の前兆」に気付いた場合には、直ちに周りの人と安全な場所へ避難してください。日ごろから危険箇所、避難場所、避難経路を確認しておくことも重要です。

## 土砂災害の種類

### がけ崩れ

斜面の地表に近い部分が雨水の浸透などで緩み、急に崩れ落ちる土砂災害です。崩れ始めてから崩れ落ちるまでの時間が短く、人家の近くで発生すると逃げ遅れて犠牲になる人が多い災害です。

前兆現象を見聞きしたら  
要注意!

- 小石が斜面から落下する。
- 斜面にひび割れができる。
- 斜面から湧き水が出てくる。 など



### 土石流

山腹や川底の石や土砂などが、長雨や集中豪雨によって一気に下流へ押し流される土砂災害です。時速 20~40km という速度で進むため、あっという間に人家や田畑をのみ込んで破壊します。

前兆現象を見聞きしたら  
要注意!

- 山鳴りがする。
- 川が濁り、流木がまざり始める。
- 腐った土のにおいがする。 など

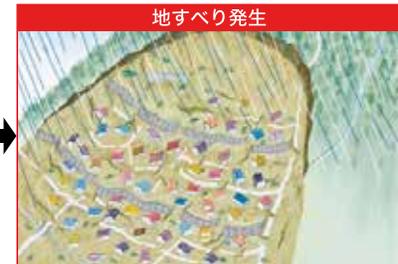


### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が、雨水が浸透した地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する土砂災害です。移動する土砂の量が多いため、広範囲に大きな被害をもたらします。

前兆現象を見聞きしたら  
要注意!

- 地面にひび割れや段差ができる。
- 井戸や沢の水が濁る。
- 地面が振動する。 など



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。ふだんと違い、少しでも身に危険を感じたら避難するようにしましょう。

## 土砂災害警戒情報とは



土砂災害がいつ発生してもおかしくない状況となったときに、対象となる地域を特定して警戒を呼びかける情報です。

市が避難指示などを発表する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表します。土砂災害警戒区域等にお住まいの方は、この情報が出たら、特に注意が必要です。



## 危険箇所内の重要性の高い箇所について

土砂災害防止法に基づき、福島県が計画的に基礎調査を実施し、危険箇所内の重要性の高い箇所について、「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」の指定及び見直しが行われています。

### 土砂災害警戒区域 (通称:イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、当該区域における土砂災害を防止するために警戒避難体制を整備すべき区域です。

### 土砂災害特別警戒区域 (通称:レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうちで、土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。この区域内では、特定の開発行為に対する許可制や、居室を有する建築物の構造規制等が行われます。

# 地震対策 地震発生!そんなときどうする

## 地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

緊急地震速報

1~2分

3分

5分

10分  
数時間  
3日

### 揺れを感じたり、緊急地震速報を見聞きしたら

- まず、手近な座布団などで頭を保護するなどの避難行動をとる。
- 大きな揺れが来る前に、テーブルや机の下などで身の安全を確保する。



### 揺れがおさまったら

- 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱 靴や厚手のスリッパをはく。
- 避難するときは、ブロック塀・自動販売機等に注意



### みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

- 隣近所に  
声をかけよう
- 隣近所で助け合う。要配慮者の安全確保
  - 行方不明者はいないか。●ケガ人はいないか。

- 出火防止  
初期消火
- 初期消火 ●消火器を使う。●バケツリレー 風呂の水はため置きをしておく。
  - 漏電・ガス漏れに注意 ガスの元栓・電気のブレーカーを切る。●余震に注意



### ラジオなどで正しい情報を

- 大声で知らせる。 ●救出・救護を。 ●防災機関、自主防災組織の情報を確認
- デマにまどわされないように。 ●避難時には車は使用しない。
- 電話は緊急連絡を優先する。



### 協力して消火活動、救出・救護活動を

- 災害情報・被害情報の収集 ●無理はしない。
- 助け合いの心が大切 ●こわれた家に入らない。
- 水、食料は蓄えているものでまかなう。3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく。



## 屋内にいた場合

### 家の中

- ・緊急地震速報を見聞きしたり、揺れを感じたら、すばやく身の安全を確保する。
- ・火の使用中に揺れを感じたら、揺れが収まってからあわてずに火の始末をする。(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)
- ・乳幼児や病人、高齢者など災害弱者の安全を確保する。
- ・裸足で歩き回らない。(ガラスの破片に注意!)

### デパート・スーパー

- ・カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

### 集合住宅

- ・ドアや窓を開けて避難口を確保する。
- ・避難にエレベーターは絶対使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。

### 劇場・ホール

- ・カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。あわてず冷静な行動をとる。

## 屋外にいた場合

### 路上

- ・その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ・近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ・ブロック塀や自動販売機には近づかない。倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

### 電車などの車内

- ・つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ・途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ・乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

### 海岸付近

- ・高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

### 車を運転中

- ・ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ・揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ・避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。



# わが家の地震対策&チェック

## 家の中の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### 家の中に逃げ場としての安全な空間をつくる

部屋がいくつもある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置く。無理な場合は、少しでも安全なスペースができるよう配置換えする。



### 安全に避難するため、出入口や通路にものを置かない

玄関などの出入口までの通路に、家具など倒れやすいものを置かない。また、玄関にいろいろなものを置くと、いざというときに、出入口をふさいでしまうことも。



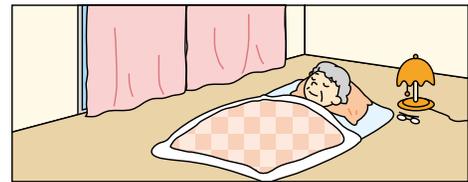
### 家具の転倒を防ぐ

家具と壁や柱の間に遊びがあると倒れやすい。家具の下に小さな板などを差し込んで、壁や柱によりかかるように固定する。また、金具や固定器具を使って転倒防止策を万全に。



### 子どもやお年寄りのいる部屋、寝室には家具を置かない

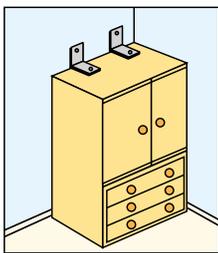
就寝中に地震に襲われると危険。子どもやお年寄り、病人などは逃げ遅れる可能性がある。



## 家具の転倒、落下を防ぐポイント

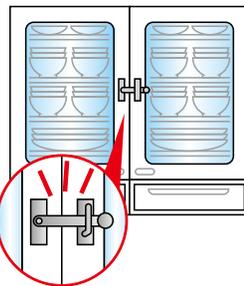
### タンス・本棚

L字金具や支え棒などで固定する。二段重ねの場合はつなぎ目を金具でしっかり連結しておく。



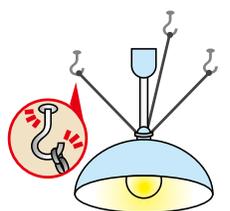
### 食器棚

L字金具などで固定し、棚板には滑りにくい材質のシートやふきんなどを敷く。重い食器は下の方に置く。扉が開かないように止め金具をつける。



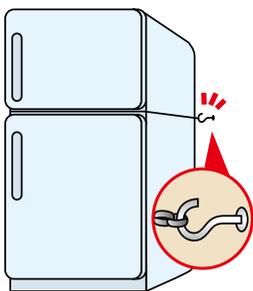
### 照明

チェーンと金具を使って数箇所止める。蛍光灯は蛍光管の両端を耐熱テープで止めておく。



### 冷蔵庫

2ドアの場合は、扉と扉の間に針金などを巻いて、金具で壁に固定する。



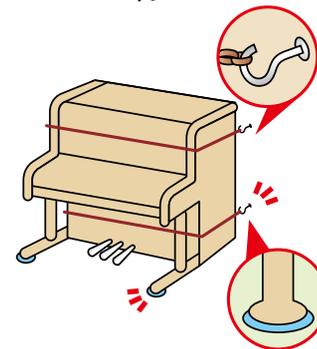
### テレビ

できるだけ低い位置に固定して置く(家具の上はさける)。また、テレビ台にも動かないように、キャスター止めをする。



### ピアノ

本体にナイロンテープなどを巻きつけ、取りつけた金具などで固定する。脚には、すべり止めをつける。



## 家の周囲の安全対策

事前に準備出来ているか、チェック✓しましょう。

### 屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

### ベランダ

植木鉢などの整理整頓を。落ちる危険がある場所には何も置かない。

### 窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。



### ブロック塀・門柱

土中にしっかりと基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

### プロパンガス

ボンベを鎖で固定しておく。

### 非常口の確保

# 特別警報をご存知ですか？

特別警報は、大規模な災害の発生が切迫していることをお知らせする警報です。  
普段からの備えと早め早めの行動があなたや身近な人の命を守ります。

## 特別警報の発表基準

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により暴風が吹くと予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合
地震 (地震動)	震度6弱以上の大きさの地震動が予想される場合 (緊急地震速報(震度6弱以上)を特別警報に位置づける)

※その他、高潮・波浪・火山噴火・津波に対しても、特別警報の位置づけがなされています。  
表中の“数十年に一度”の現象に相当する降水量等の客観的な指標は気象庁ホームページで公表しています。

### 特別警報が発表されたら

- ・尋常でない大雨や暴風等が予想されています。
- ・重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。
- ・ただちに身を守るために最善を尽くしてください。

### 命を守るために情報の収集に努めてください

特別警報は、自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



- ・「特別警報が発表されない」は「災害が発生しない」ではありません。
- ・これまでどおり注意報、警報、その他の気象情報を活用し、早めの行動をとることが大切です。
- ・普段から避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

※気象庁HPより一部を抜粋して掲載

## 気象庁

気象庁ホームページ <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

特別警報について <http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/tokubetsu-keiho/>



# 火災対策

## 住宅火災からの逃げ遅れを防ぐ！住宅用火災警報器！

### 1 消防法により、設置が義務付けられています

火災による犠牲者のうち、約7割が住宅火災によるものです。住宅用火災警報器は、火災により発生する煙などを感知し、音や音声により警報を発して火災の発生を知らせてくれます。警報器を設置し、家庭内での火災から命を守りましょう。

### 2 定期的に点検し、10年経ったら交換を！

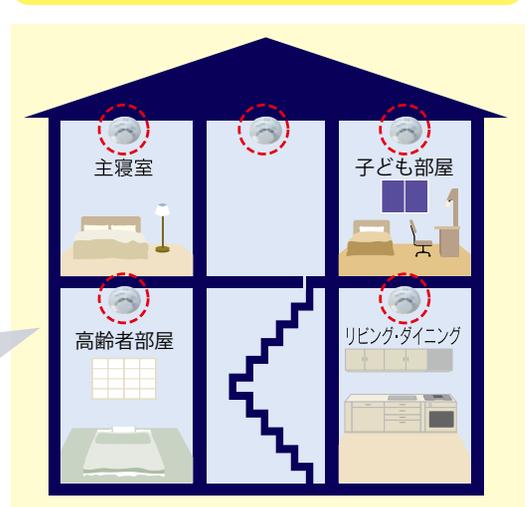
住宅用火災警報器は、一般的に電池で動いています。火災を常に感知するために、常に作動しており、その電池の寿命も目安は約10年と言われています。「いざ」というときに適切に作動するよう、定期的に作動確認を行い、適切に交換をしましょう。

### 火災警報器の設置場所

- 寝室…すべての寝室(子ども部屋や高齢者の部屋など就寝に使われている場合は対象となります)への設置が必要です。
- 階段…寝室のある部屋の階段の天井などへの設置が必要です。
- 台所…台所への設置も推奨しています。



住宅内取付位置図



# 避難行動ガイド①

住民の皆さまが、「自らの命は自らが守る」という意識のもと、自主的な避難を行うために、本宮市・国・県では防災情報を5段階の警戒レベルにより提供します。日頃からいざという時に備えて、災害時の取るべき行動の確認をお願いします。

## 警戒レベルについて

警戒レベル	新たな避難情報等	
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b> ※1
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

- ※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
- ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。
- ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

※内閣府(防災担当)・消防庁チラシより一部抜粋

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の発令を待つてはいけません！**

**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から**全員避難**しましょう。

避難に時間のかかる**高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から**避難**しましょう。

### 大雨のとき

河川の近くや、土砂災害の恐れがある区域に対して、災害の発生の恐れが想定される場合に、「警戒レベル3 高齢者等避難」や「警戒レベル4 避難指示」を発令します。また、「警戒レベル5 緊急安全確保」は、必ず発令される情報ではありませんので、警戒レベル4までに必ず避難をしましょう。

※市でも早めの避難情報の発令に努めますが、自らが早めに判断し、避難行動をとることが命を守ることに繋がります。



### 地震のとき

地震発生後、火災やがけ崩れ等の危険が迫ったときに、避難指示を発令します。



## 避難とは・・・

避難は、災害から命を守るための行動であり、避難行動には次のような方法があります。

<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>
指定緊急避難場所・指定避難所への移動	警戒区域等内の自宅などから移動し、安全な場所への避難(公園、親戚や友人の家など)	近隣の強固で高い建物などへの移動	建物内の安全な場所での待避(家屋内への垂直避難) やむを得ず、家屋内に留まった場合、安全を確保する避難行動として、洪水対策では建物の2階以上高いところへ、土砂災害対策では、斜面と反対方向の高い階への移動が有効です。
屋外が安全で移動できる状態のとき			屋外が危険な状態のとき

# 避難行動ガイド②

## 避難行動に関する行政発令の避難情報の種類と、住民の皆さまの対応

避難指示などは、災害の種類ごとに避難行動が必要な地域を示して発令しますが、地域やご家庭などの事情によって、「避難指示」を待たずに避難が必要と考えられる場合は、「**自主避難**」をお願いします。

区分	立退き避難など住民の皆さまの行動
高齢者等避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気象情報に注意を払い、立退き避難の必要について考える。</li> <li>・立退き避難が必要と判断する場合は、その準備と立退き避難をする。</li> <li>・<b>要配慮者(障がい者や高齢者で避難行動が困難な人)は、この段階で立退き避難をする。</b></li> </ul>
避難指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常時持ち出し品をもって、立退き避難をする。</li> <li>・立退き避難することが、かえって危険と判断される場合は、屋内で安全を確保する。</li> </ul>
緊急安全確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。</li> <li>・市が災害発生を把握していない場合もあり、必ず発令されるものではないことに留意する。</li> </ul>

※「**自主避難**」とは・・・避難指示などを待たず、自主的に地区集会所、親戚や友人の家などの安全な場所へ避難することです。その際は、出来るだけ必要な食糧、飲物、日用品などを持参するようにしてください。

※雨が降り続けていたら、テレビ・ラジオ・スマートフォン・パソコンなどで最新の気象情報を入手しましょう。特に、河川氾濫の浸水想定区域や土砂災害警戒区域にお住まいの方は、自分で早めに判断し、「危ない」と思ったら、直ちに危険な区域から離れる行動(**自主避難**)することが命を守ることになります。

## 自主防災組織

### 自主防災組織の活動内容

自主防災組織とは、自治会などの単位で結成されるもので、地域のみなさんが自主的に連携して防災活動を行う団体のことをいいます。災害による被害を最小限におさめるためには、「自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方が重要となります。

#### 平常時

災害に備えるために、日頃から地域のみなさんに、防災知識・防災活動の必要性を理解してもらう活動を行います。

##### ■地域内の安全点検

地域内の危険箇所や問題点を確認し改善します。

##### ■防災知識の普及と啓発

地域住民に防災知識を広め、関心を持ってもらいます。

##### ■防災訓練

災害に備え、消防署などの指導のもと訓練を行います。



#### 災害時

人命を守り被害の拡大を防ぐために、地域のみなさんが協力して、火災の初期消火や負傷者等の救出・救護などを行います。

##### ■初期消火

近隣の人と初期消火活動を行います。

##### ■救出・救助

負傷者などの救出・救助や、応急手当を行います。

##### ■避難誘導

避難経路の安全を確認し、住民を避難場所へ誘導します。

##### ■情報の収集と伝達

防災関係機関と連絡を取り、情報を住民に伝達します。

##### ■避難所の管理と運営

避難所を立ちあげ、運営に協力します。



### 要配慮者への協力

高齢者・乳幼児・傷病者・外国人の方々は、災害時の避難行動や言葉の理解などで大きなハンデを負うことになります。地域のみなさんは日頃からコミュニケーションをとりあって、災害時には相手に適した誘導方法で早めの避難ができるように協力しましょう。

##### ■高齢者・乳幼児・傷病者・外国人の方には

高齢者や乳幼児は、手をつなぐ、背負うなどよりしっかり援護します。傷病者には複数の人で対応しましょう。

急を要するときは、ひも等を使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。

外国人の方で言葉が通じない場合には、身振りを交えて誘導します。



##### ■車椅子を利用する人には

車椅子を利用する人の場合は、必ず3人で協力し、階段を上がる時には前向きに、下がる時は後ろ向きにして、恐怖感を与えないように配慮しましょう。



##### ■目の不自由な人には

まず、「お手伝いしましょうか」などの声をかけましょう。話しかける相手の声が頼りなので、話すときは、はっきりゆっくり、大きな声で話し、誘導するときは、杖をもっていないほうのひじのあたりを軽く触れるか、腕をかして、半歩前くらいをゆっくり歩きましょう。



##### ■耳の不自由な人には

話すときは、近くまで寄って相手にまっすぐ顔を向け、口を大きくはっきり動かしましょう。

口頭でわからないようであれば、紙とペンで筆談しましょう。

紙やペンがなければ、相手の手のひらに字を書いて筆談しましょう。



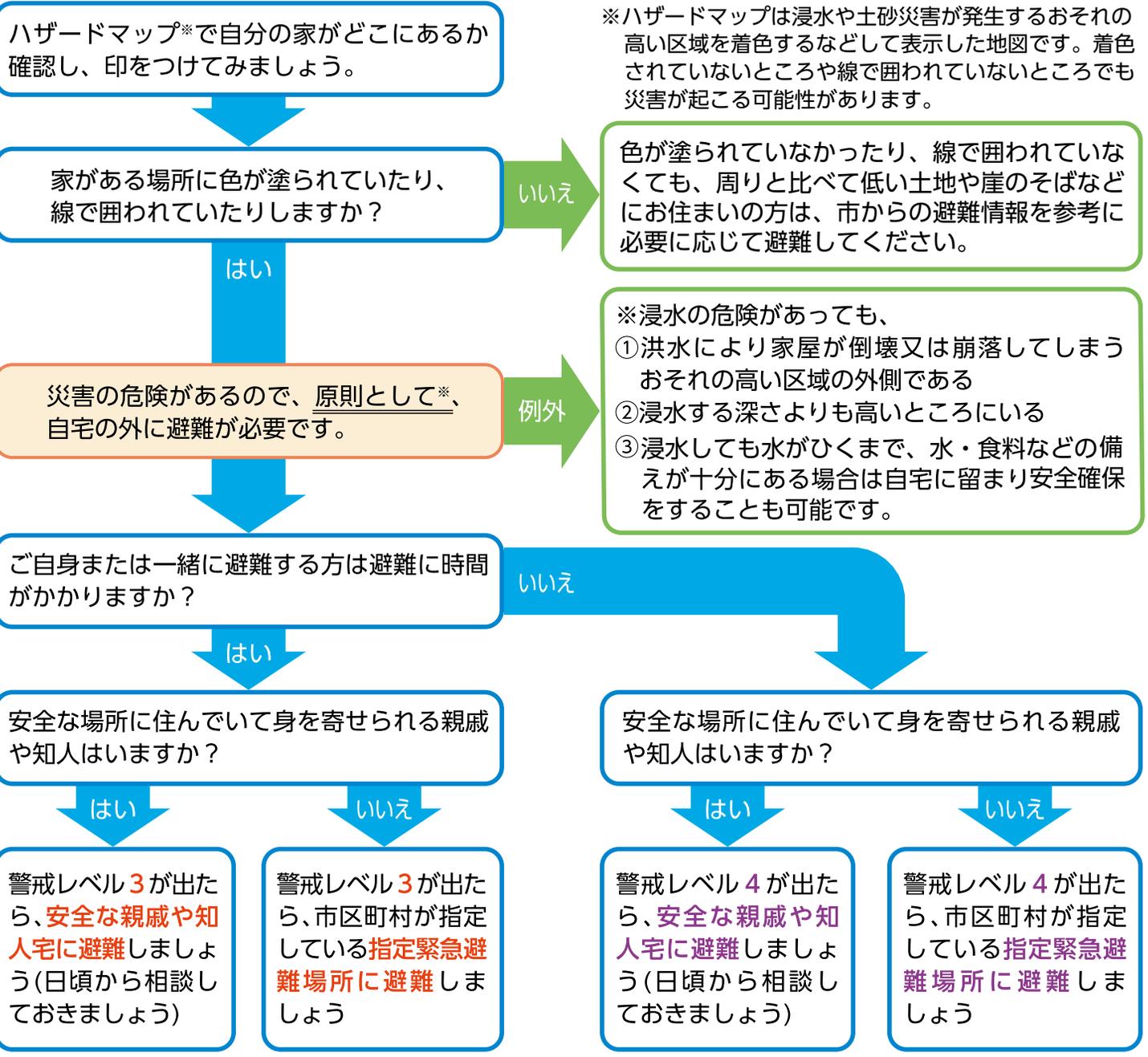
# 台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に  
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、  
自宅の災害リスクととるべき行動を  
確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

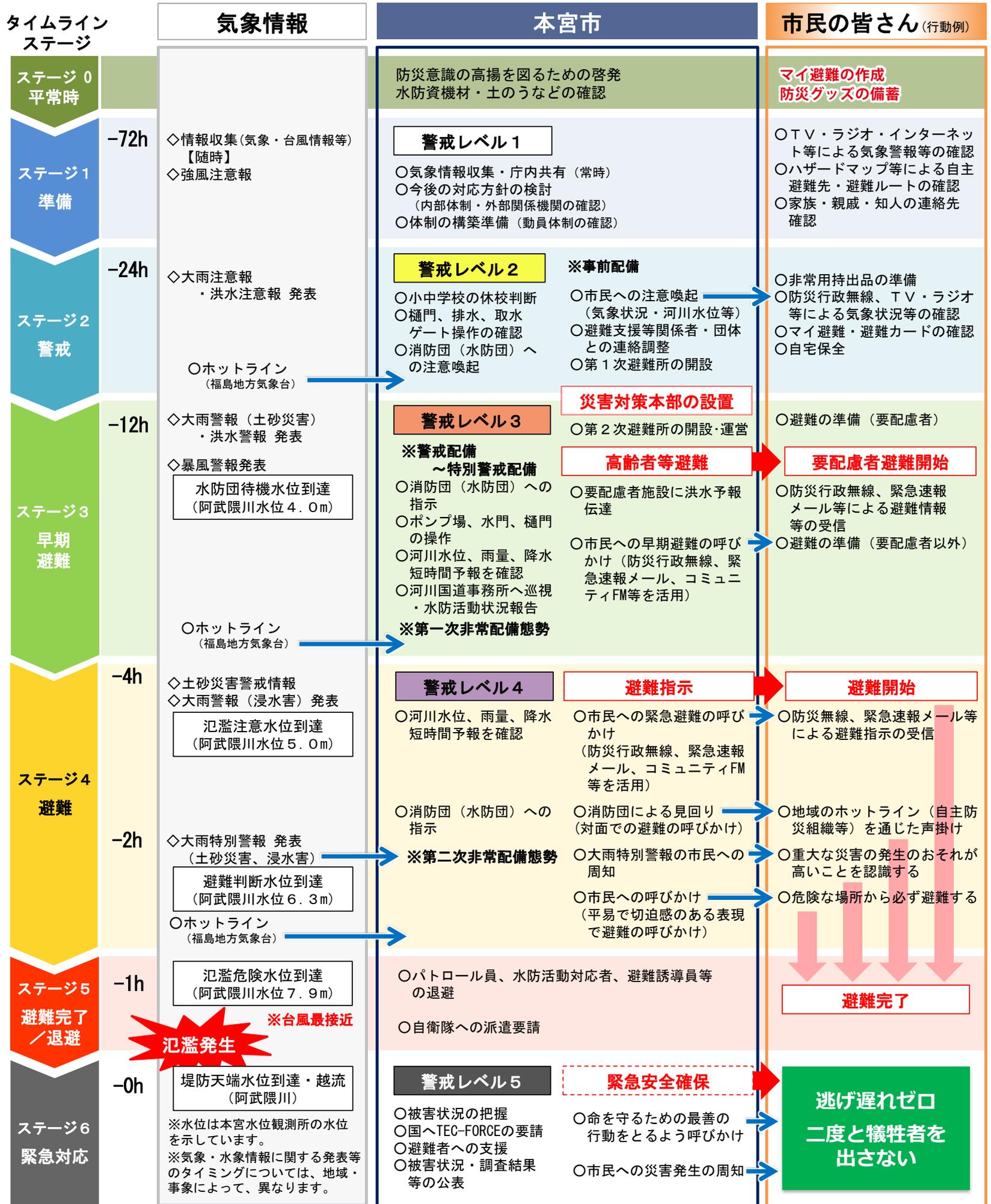


## 市内河川の避難指示等発令に係る基準水位

	阿武隈川 (国管理)	安達太良川 (県管理)	五百川 (県管理)
消防団待機水位	4.00m	1.30m	3.50m
氾濫注意水位	5.00m	2.00m	4.80m
避難判断水位	6.30m	2.11m	6.10m
氾濫危険水位	7.90m	2.35m	6.40m

# 台風に伴う本宮市タイムライン(防災行動計画)

タイムラインとは、台風など襲来が予測できる事象に対して、災害の発生前から、市や市民の皆さんなどが実施すべき対策をあらかじめ時系列で体形したものです。市では、令和元年東日本台風の災害対応の検証結果をもとに、早めの対応を行うことを重点にタイムラインを作成しました。災害は計画どおりには発生はしませんが、タイムラインを確認し、普段から災害に備えることが大切です。市民の皆さんも平時から災害が発生した時のことを考え、自らのタイムラインを考えておきましょう。



※避難が夜間・早朝に見込まれる場合は、避難が安全に完了できるよう時間を繰り上げて避難行動をとります。

# マイタイムライン 自分にあった防災行動。マイタイムラインを考えよう!

マイタイムラインとは、いざというときにあわてることのないよう、避難に備えた行動を一人ひとりがあらかじめ決めておくものです。

一人ひとりの家族構成や、自宅や職場の洪水リスクに合わせて、どのような避難行動が必要か、どのタイミングでどこへ避難するのが適切なのかを、家族や地域の皆さん、友人同士で話し合ってみましょう。

水害の危険から自らの命、大切な人の命を守るために、事前に考えておくことが大切です。

## ステップ1 自宅などの災害の危険性をハザードマップで確認



自宅の災害の危険性をハザードマップで確認

**浸水想定区域**

洪水浸水想定区域

0.5m  1.0m  2.0m  3.0m  5.0m

該当しない

**土砂災害の危険性**

土砂災害警戒区域  土砂災害特別警戒区域  なし

3~4階	5m~10m未満 (3階床上~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

## ステップ2 「いつ」、「誰が」、「何をするか」を考えよう。

【記入例】

警戒レベル	1	2	3	4	5
警戒レベル	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何をするか」	(父) テレビの天気予報を注意 (父) 家族全員の今後の予定を確認 (母) 防災グッズの準備 (母) 1週間分の薬を病院に受け取りに行く (私) テレビ、インターネット等で雨や川の様子に注意 (父) ハザードマップで避難場所、避難手段を確認 など		(祖父母) 〇〇保健センターに、ヘルパーさんと車で避難する。(15分)  (私) 川の水位をインターネットで確認 テレビで洪水予報の確認 など	(私、父、母) 〇〇高校体育館に徒歩で避難する。(20分) など	「命を守る行動を」

※避難行動については「誰が」「どこに」「誰と」「どのように」避難するかを記入しましょう。

警戒レベル	1	2	3	4	5
警戒レベル	今後気象状況悪化のおそれ	気象状況悪化	災害のおそれあり	災害のおそれ高い	災害発生または切迫
避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	緊急安全確保
行動「誰が」「何をするか」					「命を守る行動を」

## ステップ3 すぐに連絡がとれるよう、家庭や大切な人、知人などの連絡先を記入しましょう。

家族や大切な人の連絡先

名前	電話番号	名前	電話番号

避難先になりえる知人・親戚の連絡先

名前	電話番号

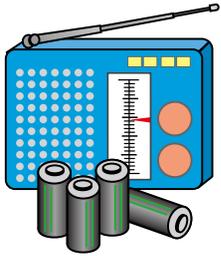
# 非常時持出品の準備&チェック

いざというときすぐに持ち出せるように、日ごろから準備・点検しておきましょう。

## 非常時持出品(例)

事前に準備出来ているか、チェック☑しましょう。

### 本宮市防災ラジオ



- 本宮市防災ラジオ
- 電池(多めに用意)

### 救急医療品



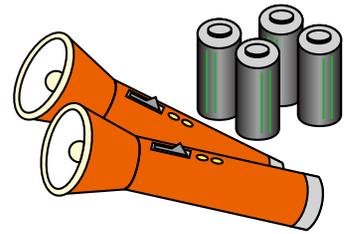
- 常備薬
- きず薬
- かぜぐすり
- 鎮痛剤
- ばんそうこう
- 包帯
- 胃腸薬

### 貴重品



- 現金
- 印鑑
- 健康保険証
- 預貯金通帳
- 免許証
- 権利証書

### 懐中電灯



- 懐中電灯(出来れば一人にひとつ)
- 電池(多めに用意)

### 非常食品等

- 非常用食品
- ミネラルウォーター
- 離乳食
- 粉ミルク



### その他

- 衣類(下着・上着など)
- 生理用品
- 缶切り
- 紙皿
- 水筒
- ウェットティッシュ
- ヘルメット
- 防災マップ(本書)
- タオル
- 紙おむつ
- 栓抜き
- 紙コップ
- カッパ
- ライター
- ラップフィルム(止血や食器にかぶせて使う)

### 感染症対策

- マスク
  - 消毒液
  - 体温計
- 

### 女性向け

- 下着
- 生理用品(生理1周期分)
- おりものシート
- 携帯用ビデ、軟膏
- スキンケア用品
- 基礎化粧品等

## 非常時用備蓄品(例)

数日間生活ができるように準備しておきましょう。

### 飲料水



- 飲料水としてペットボトルや缶入りのミネラルウォーター(1人1日3リットルを目安に)又は貯水した防災タンクなど

### 非常食品



- お米(アルファ化米など)
- 缶詰・レトルト食品
- 梅干し・調味料など
- ドライフーズ・チョコレート・アメ(菓子類など)

### 燃料



- 卓上コンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料

### その他



- 生活用水(風呂・洗濯機などに貯水)
- 毛布・寝袋・洗面用具・ドライシャンプーなど
- 調理器具(なべ・やかんなど)
- バケツ・各種アウトドア用品
- トイレットペーパーなど

## お手軽防災のススメ

# ローリングストックはじめよう!

ローリングストックとは、普段使う食料や日用品を、もしもの場合に備えて多めに買って置き、古くなったものから日々の生活の中で使い、使った分を買い足すことで常に新しいものを保存しておくという、新しい災害用備蓄の考え方です。「災害に備えなきゃいけないのはわかってるけど、何をすれば…」とお考えのあなた。まずはローリングストックで、簡単・手軽に防災、はじめてみませんか。

誰でも簡単! 手軽に3ステップ!  
これがローリングストックだ!



# ！感染症対策へのご協力をお願いします

## 避難所での感染症対策

大規模な地震や台風、豪雨などの風水害時や土砂災害時など、多くの住民が避難する大規模災害時の避難所は「**3密(密閉、密集、密接)**」状態になりやすい空間です。

そのため、飛沫感染や空気感染より感染が拡大する恐れがあることから、避難所にて感染症に「自分がかからない」ように手洗いを、また、かかっても「他人にうつさない」ために咳エチケットなどの感染症対策を行いましょう。

## 避難におけるコロナ対策のポイント

### ①避難先を検討しておきましょう

- 避難とは、「難」を「避」けることです。まずは、自宅の立地条件を確認し、自宅で安全が確保できる場合は、自宅にいるという選択(在宅避難)も検討しておきましょう。
- 安全が確保できる親戚や知人宅、ホテルなどへの避難も検討しておきましょう。
- やむを得ず車中泊する際は、周囲の安全確認を十分に行いましょう。

### ②必要となるものを、できる限り持参しましょう。

- 備蓄品には限りがあります。感染防止や健康状態確認のために必要な物のほか、おのおのが必要となる物を持参しましょう。



他にも「タオル」「ビニール袋」「スリッパ」「服用中の薬」「スマートフォン・携帯電話」「防災ラジオ」「食料・飲料」など

### ③避難所での過ごし方

- 避難所に入る前に、受付での検温、体調チェックを行います。
- 毎日体温を測り、自身の健康状態を確認しましょう。
- 食事前、トイレ使用後など、頻繁にせっけんとうで手を洗いましょう。

## 新型コロナウイルス感染症に備えて ～一人ひとりができる対策を知っておこう～

### ①手洗い

### 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

### ②咳エチケット

### 3つの咳エチケット



### 正しいマスクの着用



■ 詳しい情報はこちら

厚労省 コロナ

検索

■ 厚生労働省フリーダイヤル

0120-565653



# 指定緊急避難場所・指定避難所一覧

## 指定緊急避難場所・指定避難所

災害対策基本法に基づき、市では指定緊急避難場所及び指定避難場所を指定しています。



### 1. 指定緊急避難場所について

災害による危険が切迫した状況において、生命の安全を確保することを目的とした緊急に避難する際の避難先です。

### 2. 指定避難所について

災害の危険性がなくなった後に、ご自宅が被災された方々や、災害により帰宅が困難となった方々が一時的に滞在することを目的とした施設です。

市では、災害時、災害の種類や規模に応じて開設する避難所を決定してお知らせいたします。  
市から発信される避難所開設情報を、防災ラジオやテレビ、市のホームページなどで確認して、避難しましょう。

番号	指定緊急避難場所	指定避難所	名称	所在地	掲載ページ
1	●	●	本宮小学校体育館	本宮字館ノ越48	P22
	●		本宮小学校校庭	本宮字館ノ越48	P22
2	●	●	本宮まゆみ小学校体育館	本宮字舞台1	P22
	●		本宮まゆみ小学校校庭	本宮字舞台1	P22
3	●	●	※ 本宮第一中学校体育館	本宮字懸鉄15	P22
	●	●	※ 本宮第一中学校柔剣道場	本宮字懸鉄15	P22
	●		※ 本宮第一中学校校庭	本宮字懸鉄15	P22
4	●	●	※ まゆみ保育所	本宮字反町12-1	P22
5	●	●	※ 本宮第2児童館	本宮字花町33-1	P22
6	●	●	※ 中央公民館	本宮字矢来39-1	P22
7	●	●	※ サンライズもとみや	本宮字矢来39-4	P22
8	●	●	※ 本宮市地域交流センター(モコステーション)	本宮字九縄19-1	P22
9	●	●	多世代交流施設 あぶくま憩の家	本宮字立石39-2	P22・23
10	●	●	※ 本宮市民元いきいき応援プラザ(えぼか)	本宮字千代田60-1	P22
11	●	●	総合体育館	高木字黒作1	P22・23
12	●	●	たかぎ保育所	高木字大学80-1	P22・23
13	●	●	※ 高木地区公民館	高木字舟場8-1	P22
14	●	●	本宮高等学校	高木字井戸上45	P23
15	●	●	青田農構センター	青田字来ノ池55	P21・29
16	●	●	五百川小学校体育館	荒井字西畑1-1	P30
	●		五百川小学校校庭	荒井字西畑1-1	P30
17	●	●	本宮第二中学校体育館	荒井字団子森28	P29
	●	●	本宮第二中学校柔剣道場	荒井字団子森28	P29
	●		本宮第二中学校校庭	荒井字団子森28	P29
18	●	●	荒井地区公民館	荒井字茶園5	P29
19	●	●	高齢者ふれあいプラザ(荒井)	荒井字南ノ内65	P29
20	●	●	五百川幼保総合施設(おひさま幼保園)	荒井字山神23-1	P30
	●		五百川幼保総合施設園庭	荒井字山神23-1	P30
21	●	●	※ 仁井田地区公民館	仁井田字寺下15	P30
22	●	●	岩根小学校体育館	岩根字下年神12	P28・29
	●		岩根小学校校庭	岩根字下年神12	P28・29
23	●	●	岩根農構センター	岩根字上土淵6	P28・29
24	●	●	高齢者ふれあいプラザ(岩根)	岩根字下年神137-1	P28・29
25	●	●	糠沢小学校体育館	糠沢字原23	P31
	●		糠沢小学校校庭	糠沢字原23	P31
26	●	●	白沢公民館糠沢分館	糠沢字原241	P31
27	●	●	白沢保育所	糠沢字五味内211	P24
28	●	●	スマイルキッズパーク(プリンス・ウィリアムズ・パーク)	糠沢字石神50	P24
29	●	●	多世代交流施設 あだたら憩の家	和田字石上127	P24
30	●	●	和田小学校体育館	和田字学校前1	P24
	●		和田小学校校庭	和田字学校前1	P24
31	●	●	白沢公民館和田分館	和田字久保171	P24
32	●	●	白沢中学校体育館	白岩字柳内835	P24
	●		白沢中学校校庭	白岩字柳内835	P24
33	●	●	白沢公民館	白岩字堤崎500	P24
34	●	●	白沢体育館	白岩字堤崎318-1	P24
35	●	●	白岩小学校体育館	白岩字馬場193-1	P25
	●		白岩小学校校庭	白岩字馬場193-1	P25
36	●	●	白沢公民館白岩分館	白岩字関根73-3	P24・32
37	●	●	岳山ふれあい実習館	白岩字大岩入181	P33



番号	指定緊急避難場所	指定避難所	名称	所在地	掲載ページ
38	●	●	白沢公民館長屋分館	長屋字小山34	P25
39	●	●	※ 長屋体育館	長屋字小山34-1	P25
40	●	●	白沢公民館稲沢分館	稲沢字見切田53	P25
41	●	●	稲沢体育館	稲沢字見切田55	P25
42	●	●	白沢公民館松沢分館	松沢字池平36	P33
43	●		兼谷公園	本宮字兼谷169-6	P22
44	●		※ 花山公園	本宮字館ノ越234-3	P22
45	●		※ みずいろ公園	本宮字馬場27-10	P22
46	●		※ 東町裏公園	本宮字東町裏96	P22・23
47	●		弁天公園	本宮字弁天1-1	P22・23
48	●		※ 名郷公園	本宮字名郷12-4	P22
49	●		青田運動場	青田字来ノ池55	P21・29
50	●		荒井運動場	荒井字茶園5	P30
51	●		沢田緑道	荒井字北ノ内60-8	P30
52	●		恵向公園	荒井字恵向121-6	P29
53	●		※ 仁井田運動場	仁井田字寺下15	P30
54	●		河川防災ステーション	高木字高木地内	P22
55	●		明戸石公園	高木字井戸上43-5	P23
56	●		井戸上公園	高木字井戸上43-10	P23
57	●		本宮運動公園	高木字黒作1	P22・23
58	●		神座運動広場	関下字東原5-1	P29
59	●		屋内運動場(まゆみアリーナ)	関下字東原5-1	P29
60	●		みずきが丘公園第1	岩根字みずきが丘1-557	P28・29
61	●		みずきが丘公園第2	岩根字みずきが丘1-585	P29
62	●		しらすわグリーンパーク	糠沢字石神61	P23
63	●		高松ふれあい広場	糠沢字高松86	P30・31
64	●		春公園 (光が丘団地内)	糠沢字光が丘1-49	P31
65	●		夏公園 (光が丘団地内)	糠沢字光が丘3-74	P31
66	●		秋公園 (光が丘団地内)	糠沢字光が丘3-71	P31
67	●		けやき公園 (光が丘団地内)	糠沢字光が丘3-70	P31
68	●		岩角農村公園	和田字東屋口26-3	P20・24
69	●		和木沢運動場	和田字大木内93-1	P23
70	●		白沢運動場	白岩字堤崎494-44	P24
71	●		ふれあい夢広場	白岩字堤崎494-44	P24
72	●		岳山ふれあい広場	白岩字大岩入124	P33
73	●		長屋ふれあい広場	長屋字館7-36	P24・25
74	●		長屋みややま運動場	長屋字宮山21-5	P24・25
75	●		稲沢ふれあい広場	稲沢字高野96	P25・33
76	●		稲沢運動場	稲沢字五百田43	P25
77	●		松沢運動場	松沢字宮前35-1	P33
78	●		松沢児童遊び場	松沢字池平38	P33

◆ 施設名称に「※」がある避難所・避難場所は、水害や土砂災害、火山災害などの危険性が想定されています。ハザードマップ上でその危険性を確認し、災害の種類・規模に応じた避難先や避難方法を検討しておきましょう。

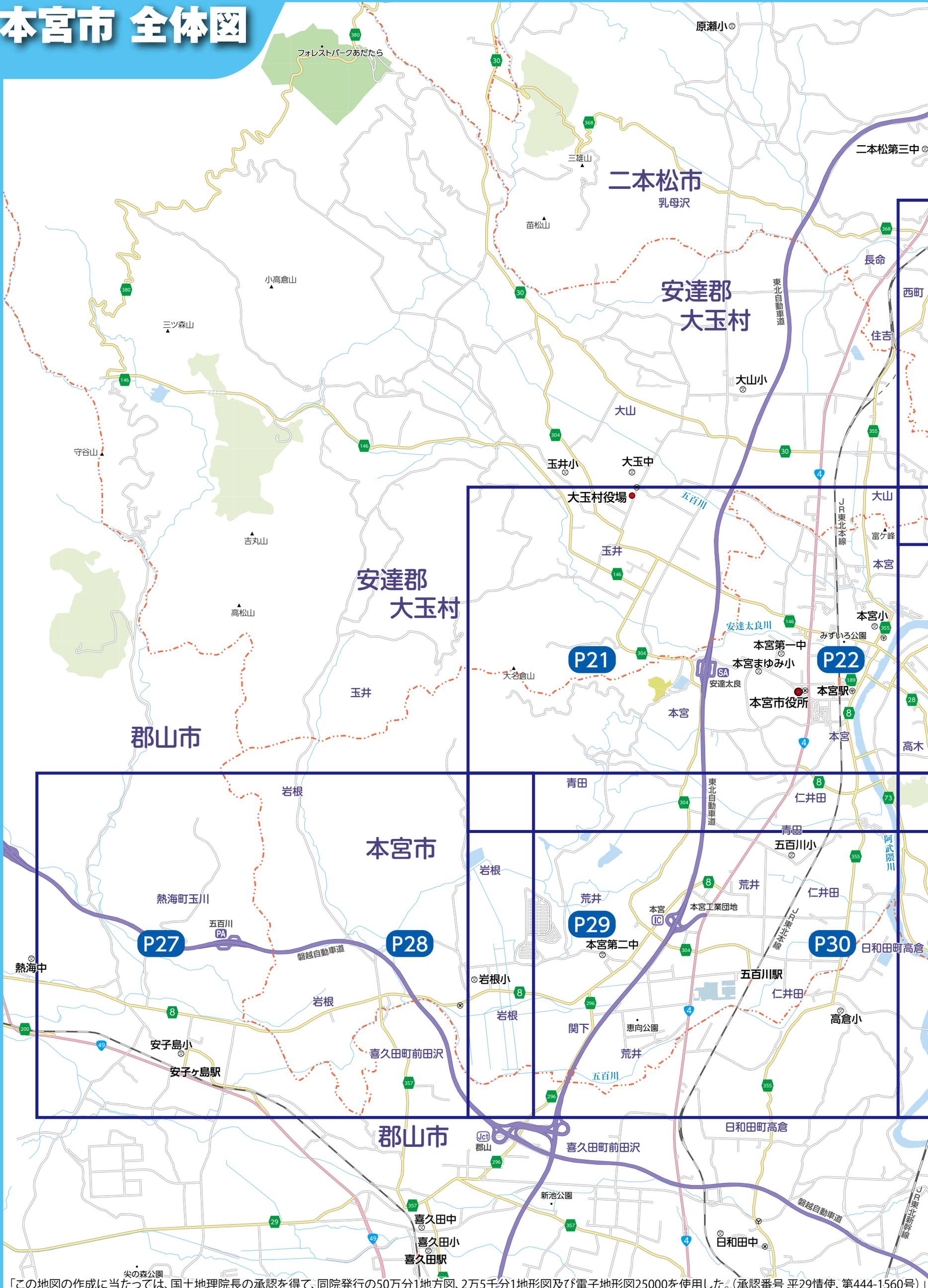
## 市の連絡先

名称	住所	電話
本宮市役所	本宮市本宮字万世212番地	0243-33-1111
白沢総合支所	本宮市白岩字堤崎494番地22	0243-44-2111

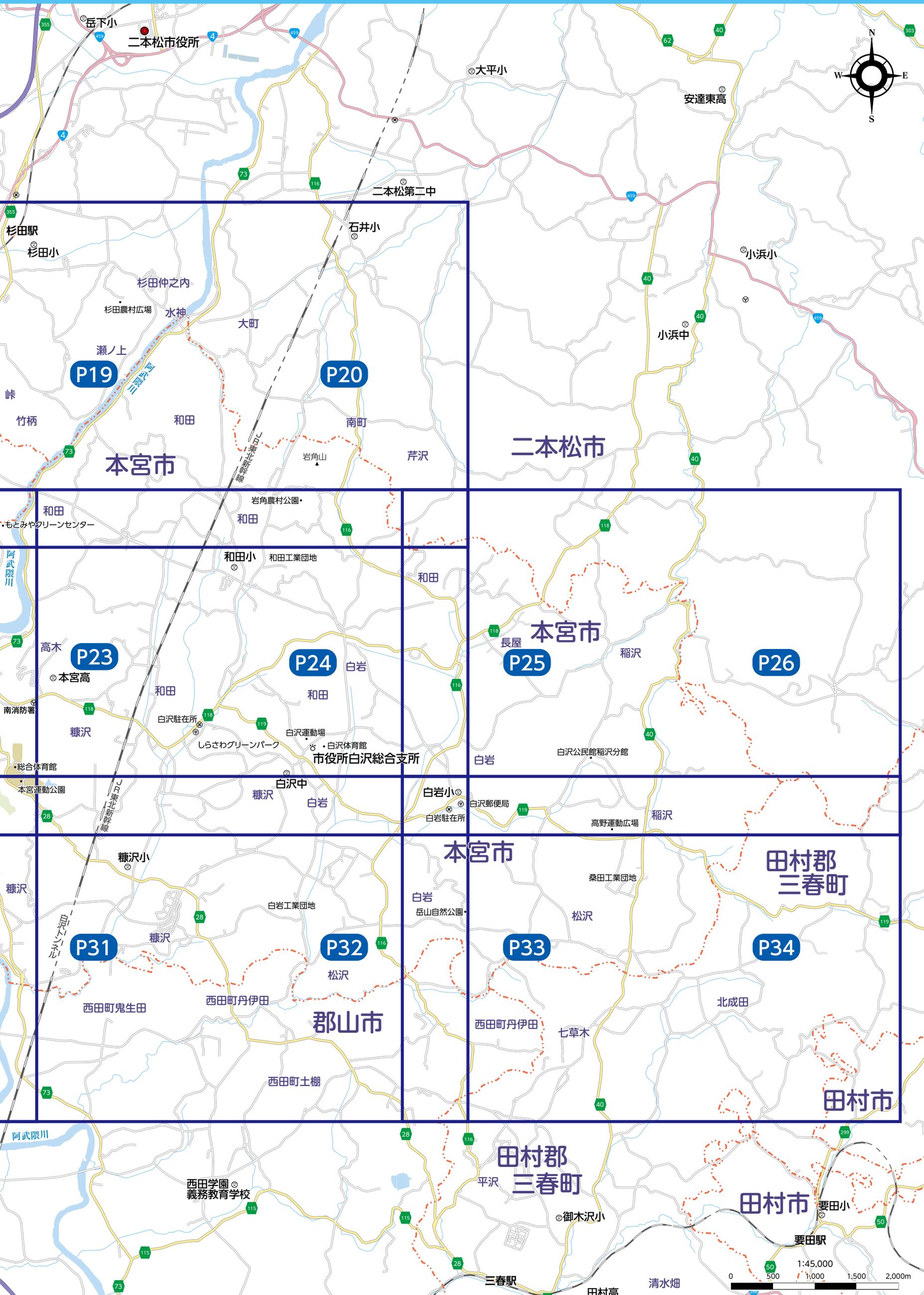
## ライフライン連絡先

名称	問い合わせ内容	電話	補足
本宮市上下水道課	上下水道設備の故障等	0243-24-5411	直通
本宮市農政課	ため池の異常等	0243-24-5385	直通
東北電力ネットワーク㈱	停電・緊急時	0120-175-366	フリーダイヤル
東日本電信電話㈱ (NTT東日本)	電話の故障 電話線の垂れ下がり発見時など	113 0120-444-113	固定電話から 携帯から

# 本宮市 全体図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平29情使、第444-1560号)



# 詳細図

No.1

縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

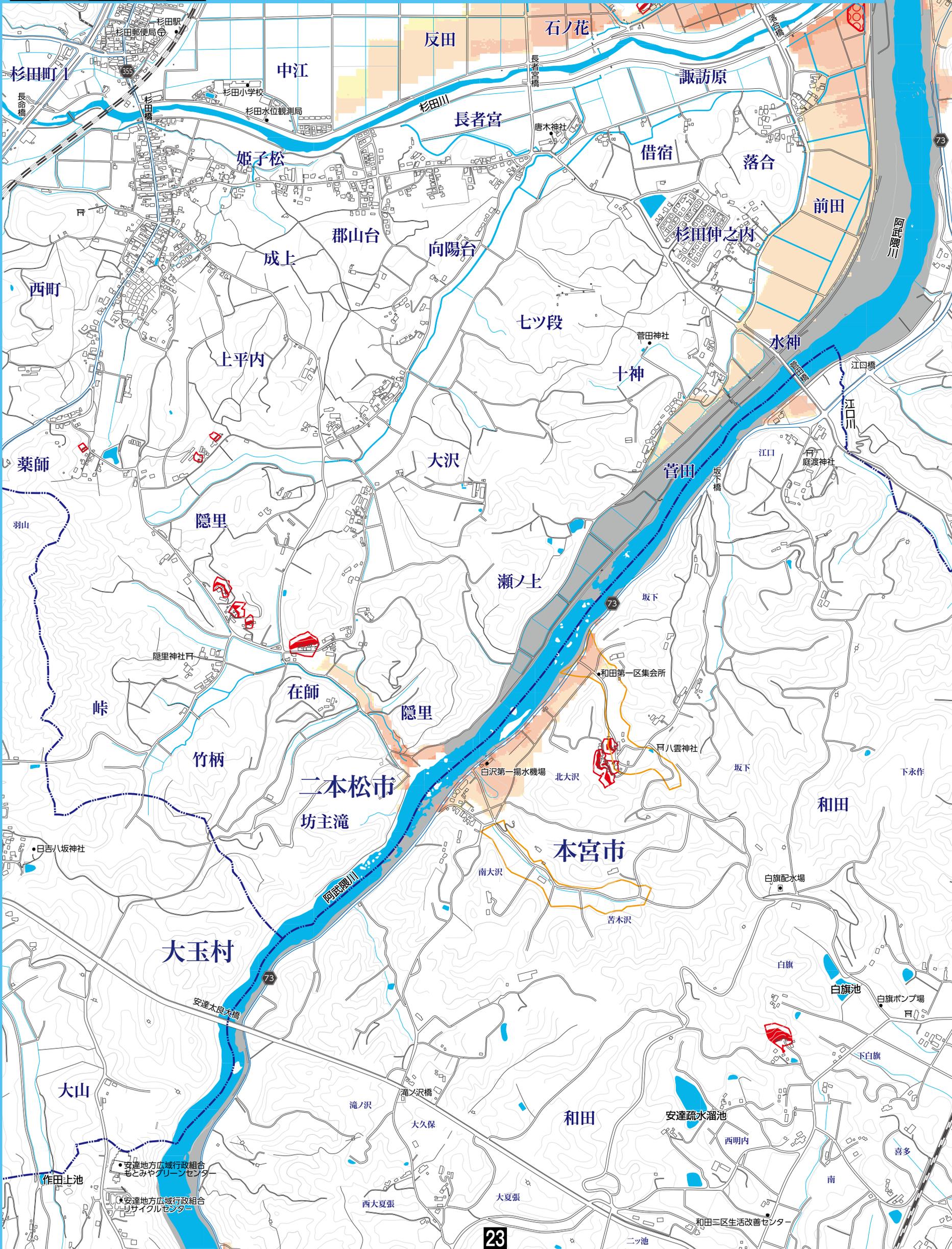
土石流 特別警戒区域		河川	
土石流 警戒区域			
急傾斜 特別警戒区域			
急傾斜 警戒区域			



5.0m以上の区域		家屋倒壊(氾濫流)
3.0~5.0m未満の区域		家屋倒壊(河岸浸食)
0.5~3.0m未満の区域		バッファゾーン
0.5m未満の区域		浸水深の指定はありませんが浸水の恐れがあるエリア

指定避難所・指定緊急避難場所等		その他
アンダーパス		

(隣接)





# 詳細図

## No.2

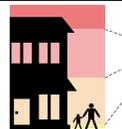
縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

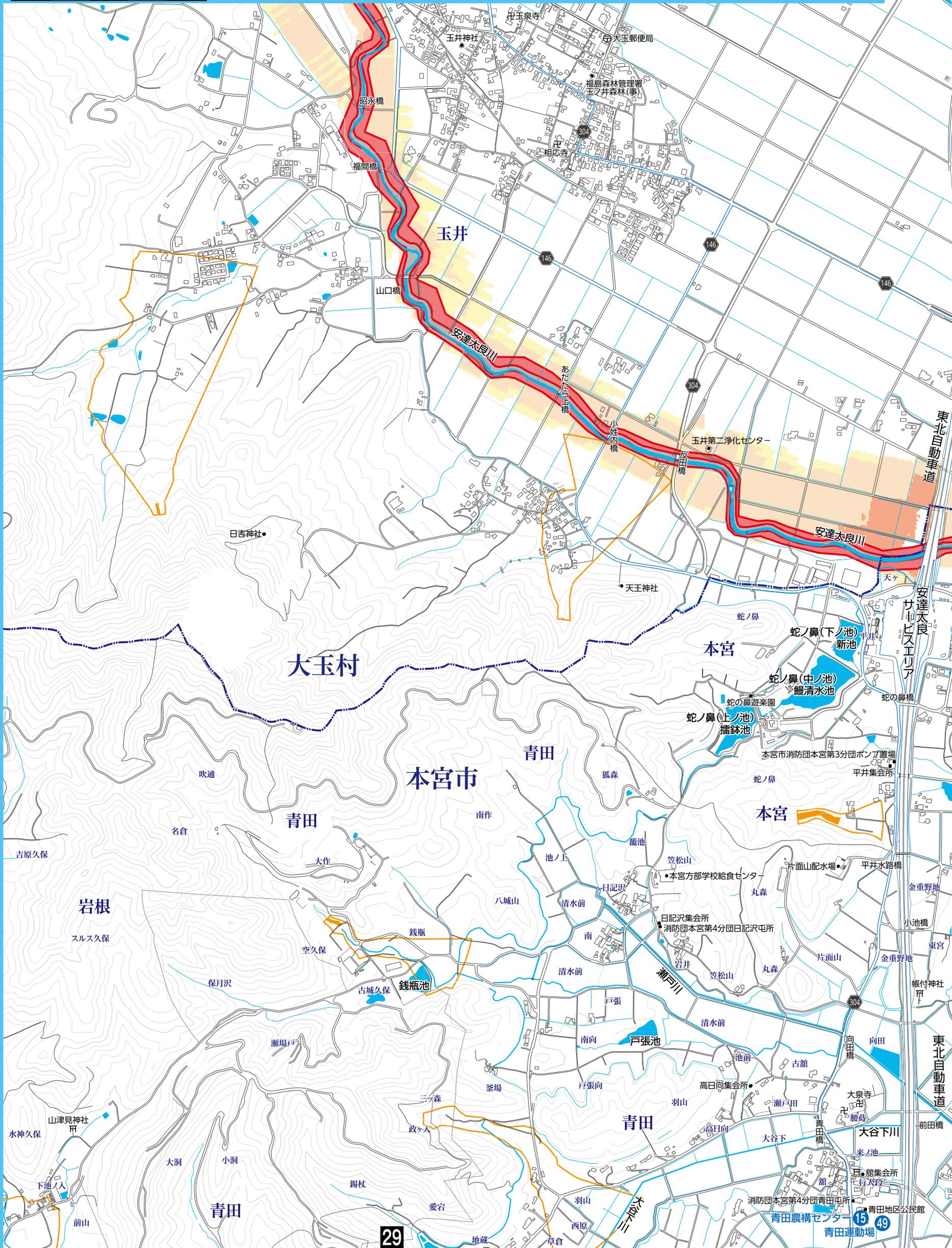
土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	



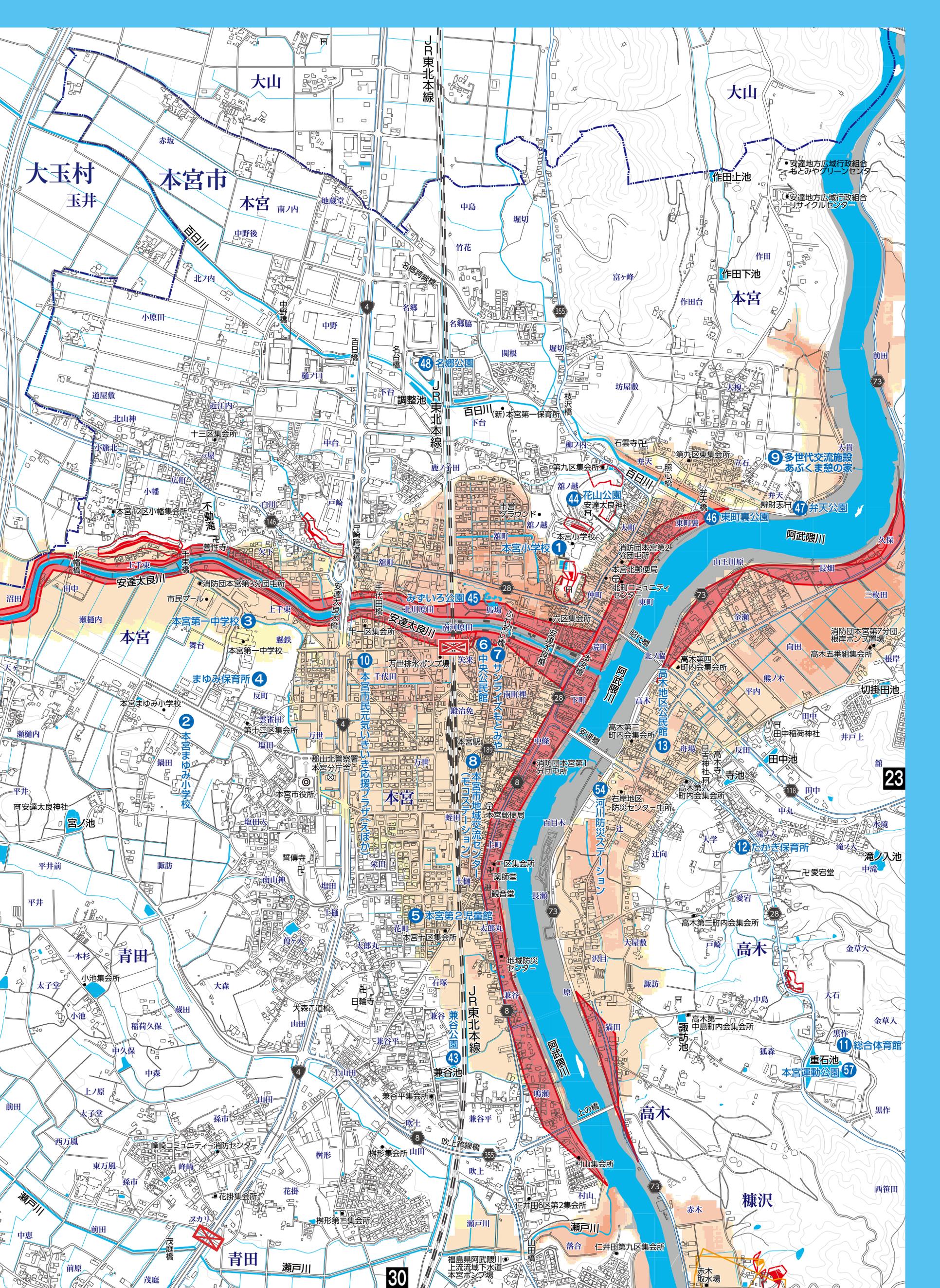
5.0m以上の区域	
3.0~5.0m 未満の区域	
0.5~3.0m 未満の区域	
0.5m未満の区域	

家屋倒壊(氾濫流)	
家屋倒壊(河岸浸食)	
バッファゾーン	
指定避難所・指定緊急避難場所等	
アンダーパス	

(隣接)



29



# 詳細図

## No.3

縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

土石流 特別警戒区域  
土石流 警戒区域  
急傾斜 特別警戒区域  
急傾斜 警戒区域

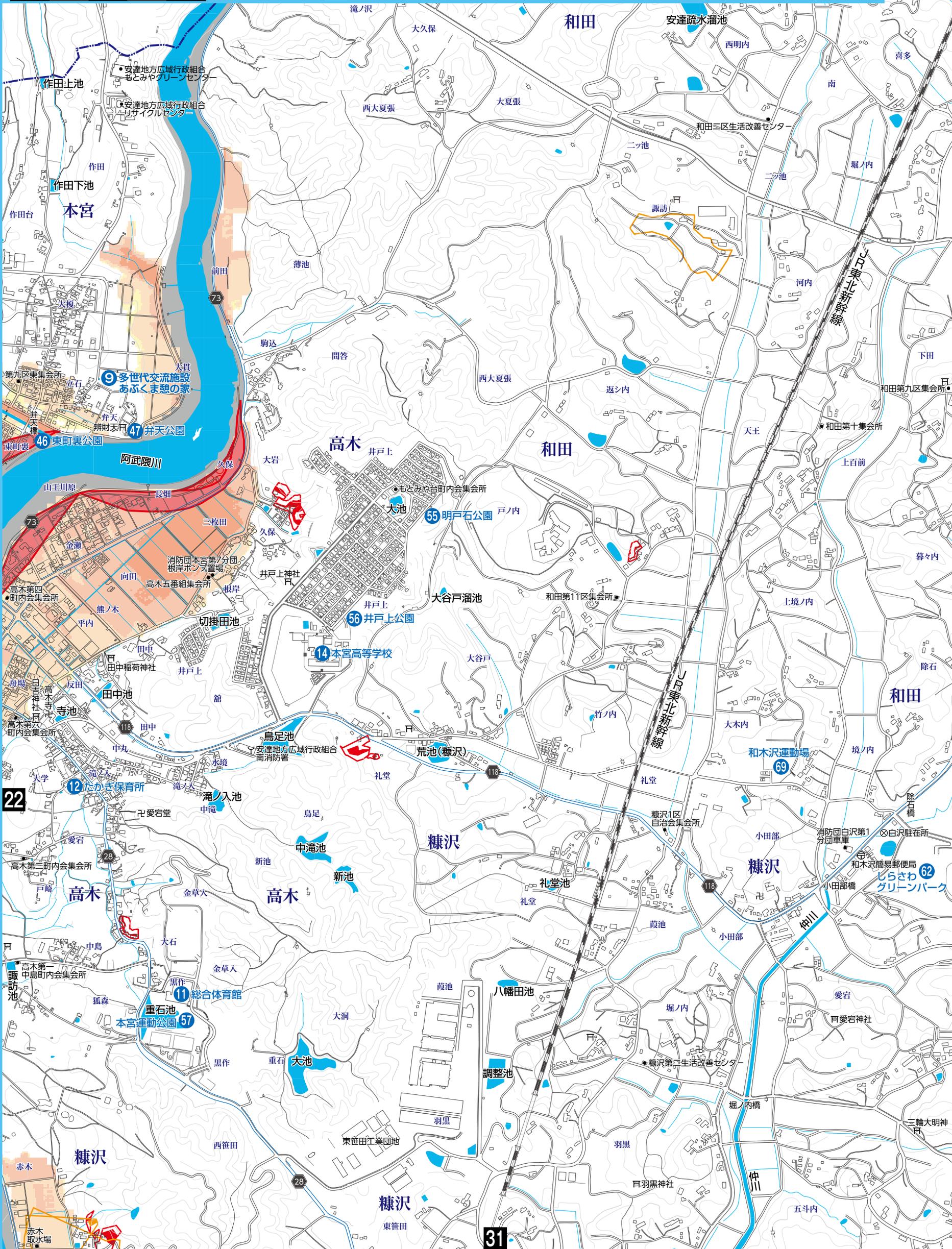


5.0m以上の区域  
3.0~5.0m未満の区域  
0.5~3.0m未満の区域  
0.5m未満の区域

家屋倒壊(氾濫流)  
家屋倒壊(河岸浸食)  
バッファゾーン  
浸水の指定はありませんが浸水の恐れがあるエリア

① 指定避難所・指定緊急避難場所等  
その他  
アンダーパス

19 (隣接)





五月町 2  
二本松市

長屋ふれあい広場 73 諏訪

長屋みやま運動場 74

25

28 スマイルキッズパーク (プリンス・ウィリアムズ・パーク)

白沢公民館 33  
しらさわ夢図書館  
ふれあい夢広場 71

70 白沢運動場

34 白沢体育館

27 白沢保育所

32 白沢中学校

糠沢

32 五味内配水場

白沢B&G海洋センター

赤城大神

白岩第六生活改善センター

白岩第六生活改善センター

白岩第六生活改善センター

白岩第六生活改善センター

白岩第六生活改善センター

白岩第六生活改善センター

白岩第六生活改善センター

32

24

白岩

白岩

白岩

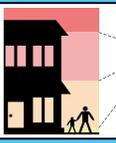
縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	

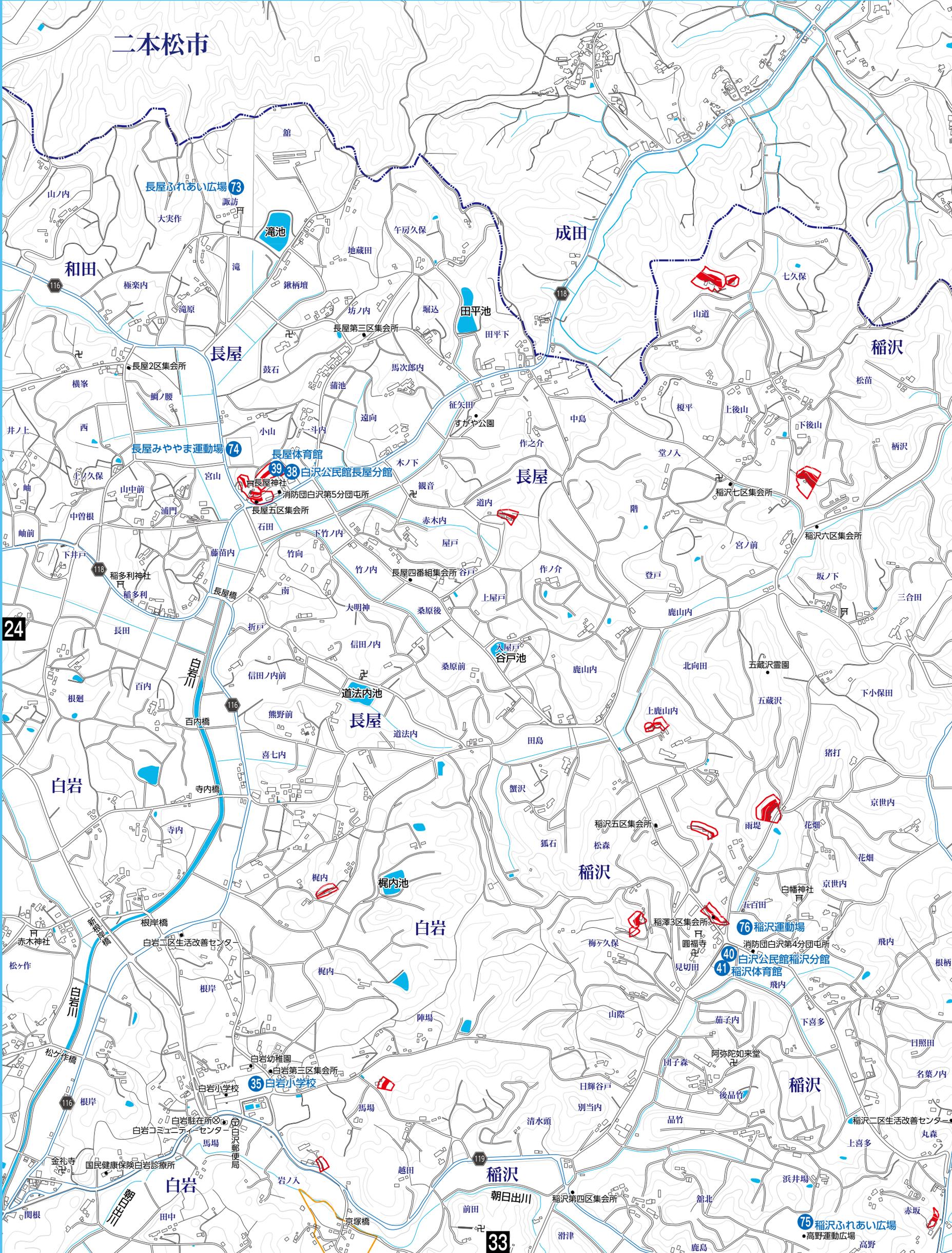


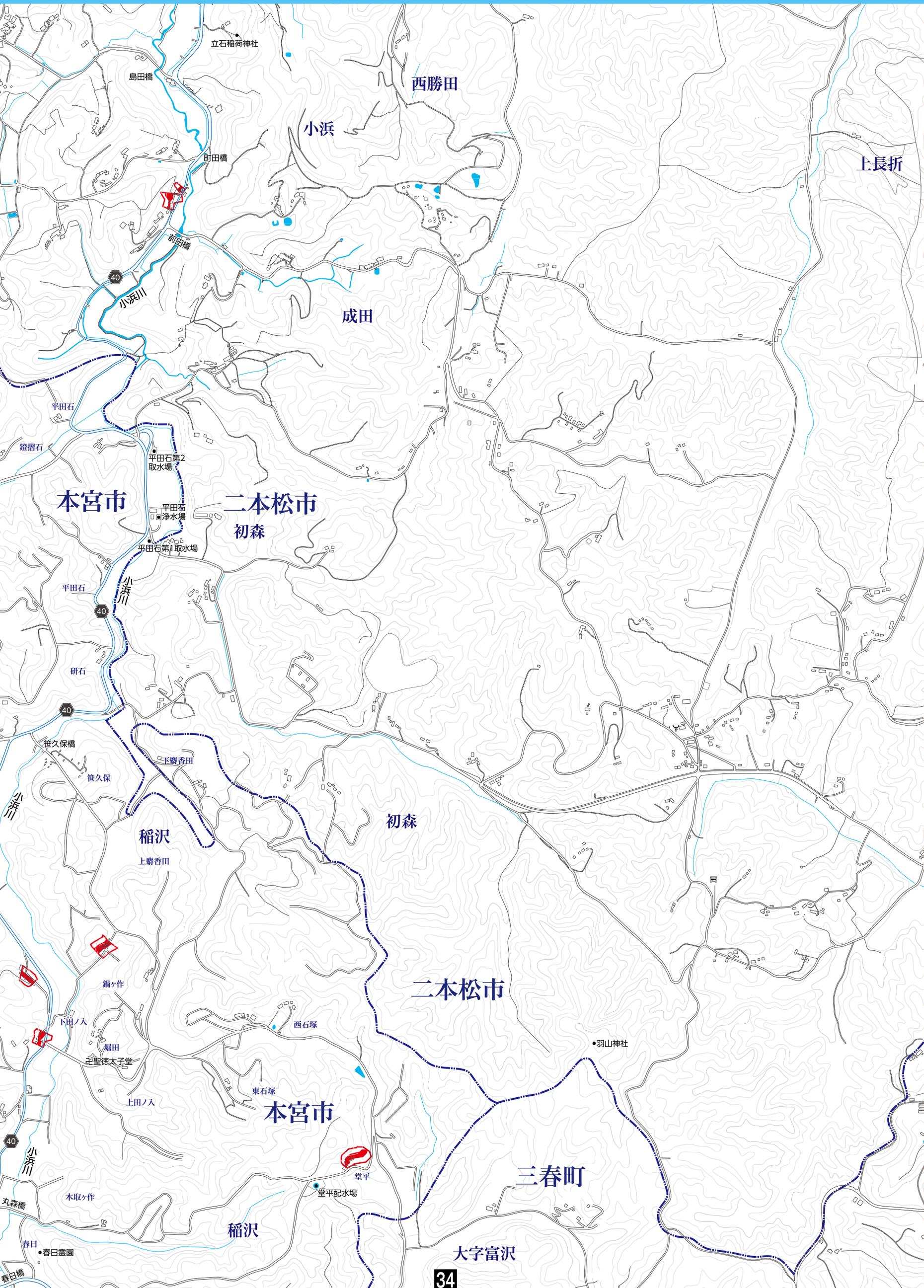
5.0m以上の区域	
3.0~5.0m 未満の区域	
0.5~3.0m 未満の区域	
0.5m未満の区域	

	家屋倒壊(氾濫流)
	家屋倒壊(河岸浸食)
	バッファゾーン
	浸水深の指定はありませんが浸水の恐れがあるエリア

	指定避難所・指定緊急避難場所等
	アンダーパス

(隣接)





# 詳細図

No.5

縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

- 土石流 特別警戒区域
- 土石流 警戒区域
- 急傾斜 特別警戒区域
- 急傾斜 警戒区域

- 河川
- 河川



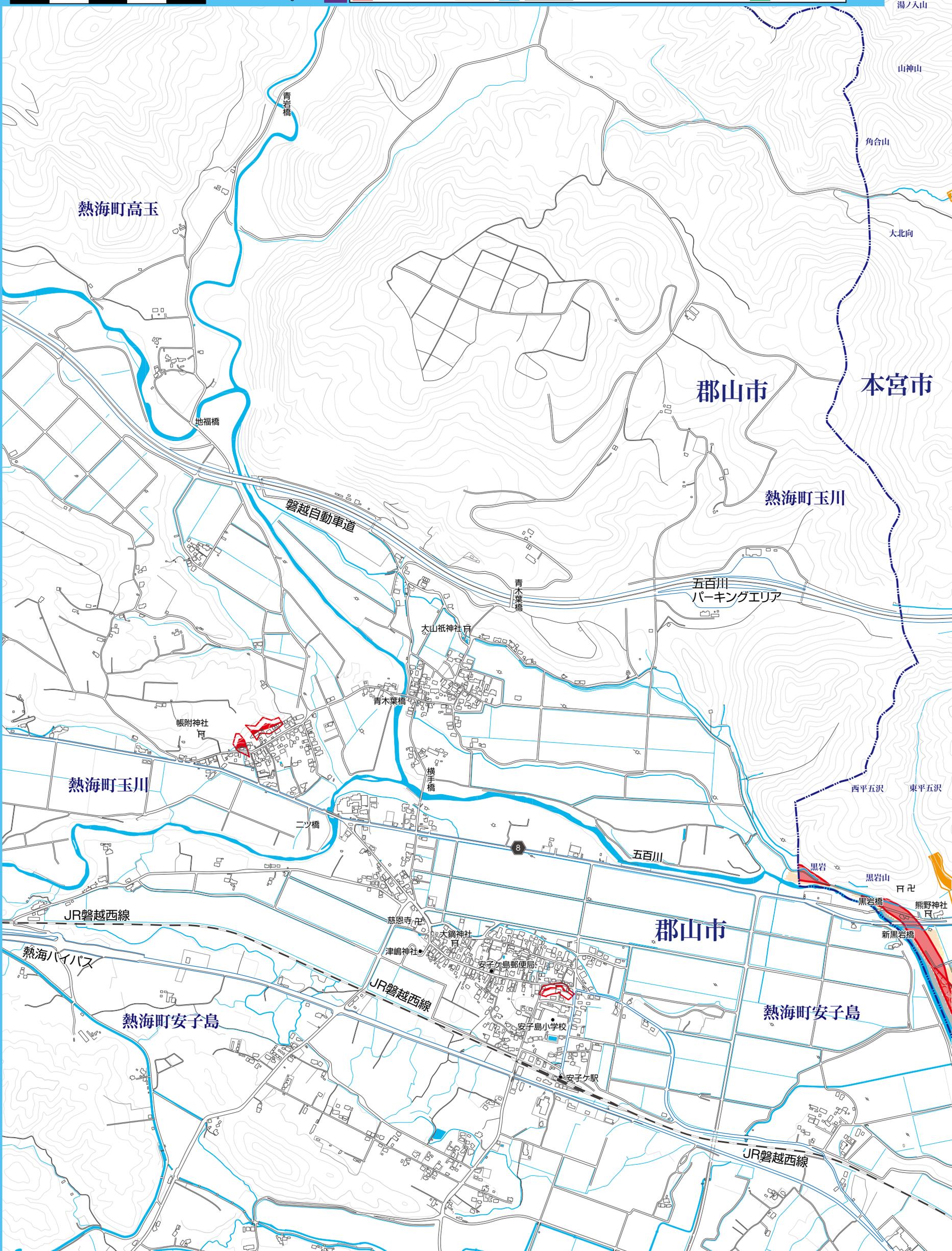
- 5.0m以上の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

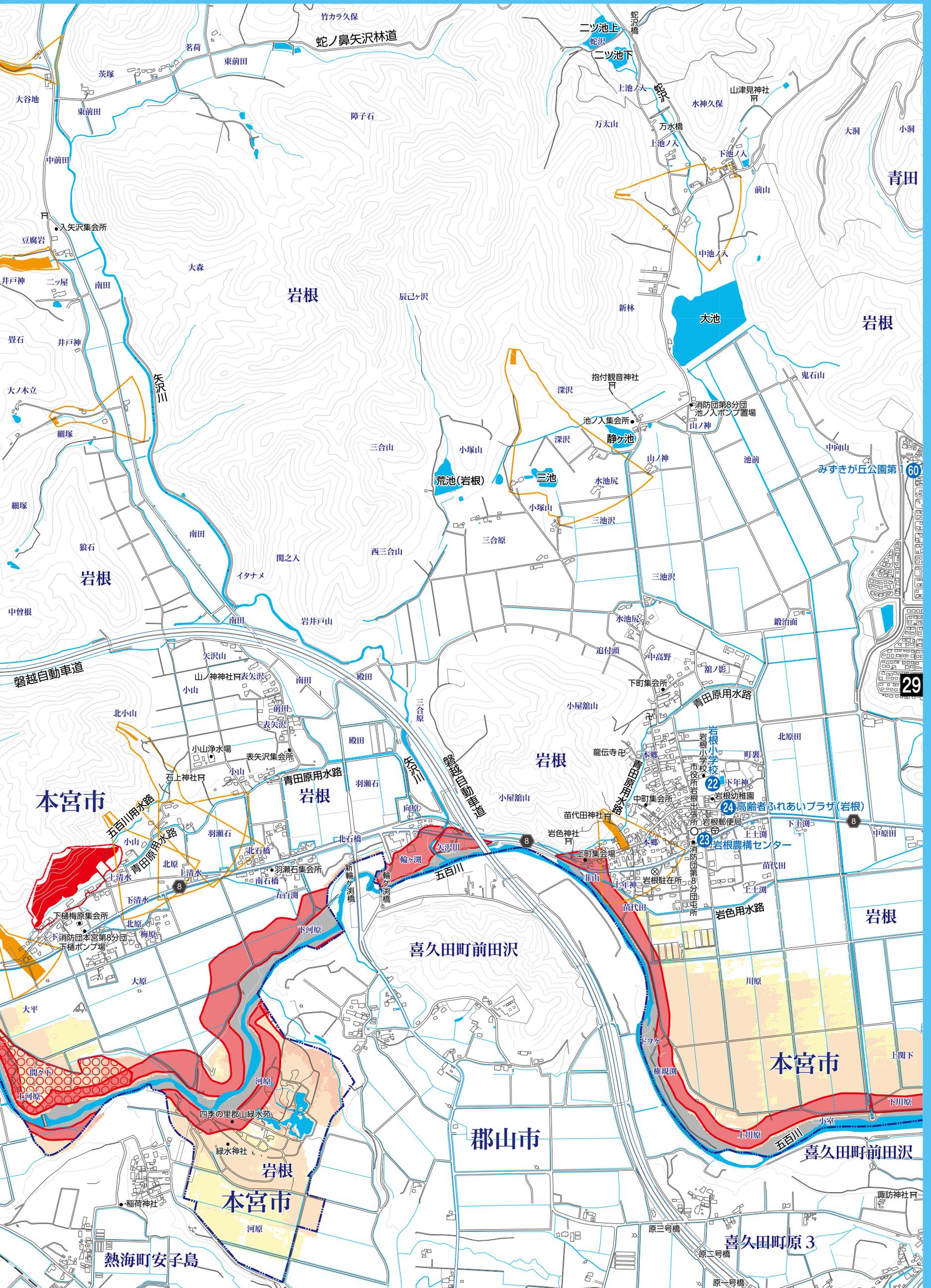
- 家屋倒壊(氾濫流)
- 家屋倒壊(河岸浸食)
- バッファゾーン

その他

- 指定避難所・指定緊急避難場所等
- アンダーパス

(隣接)





# 詳細図

## No.6

縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	



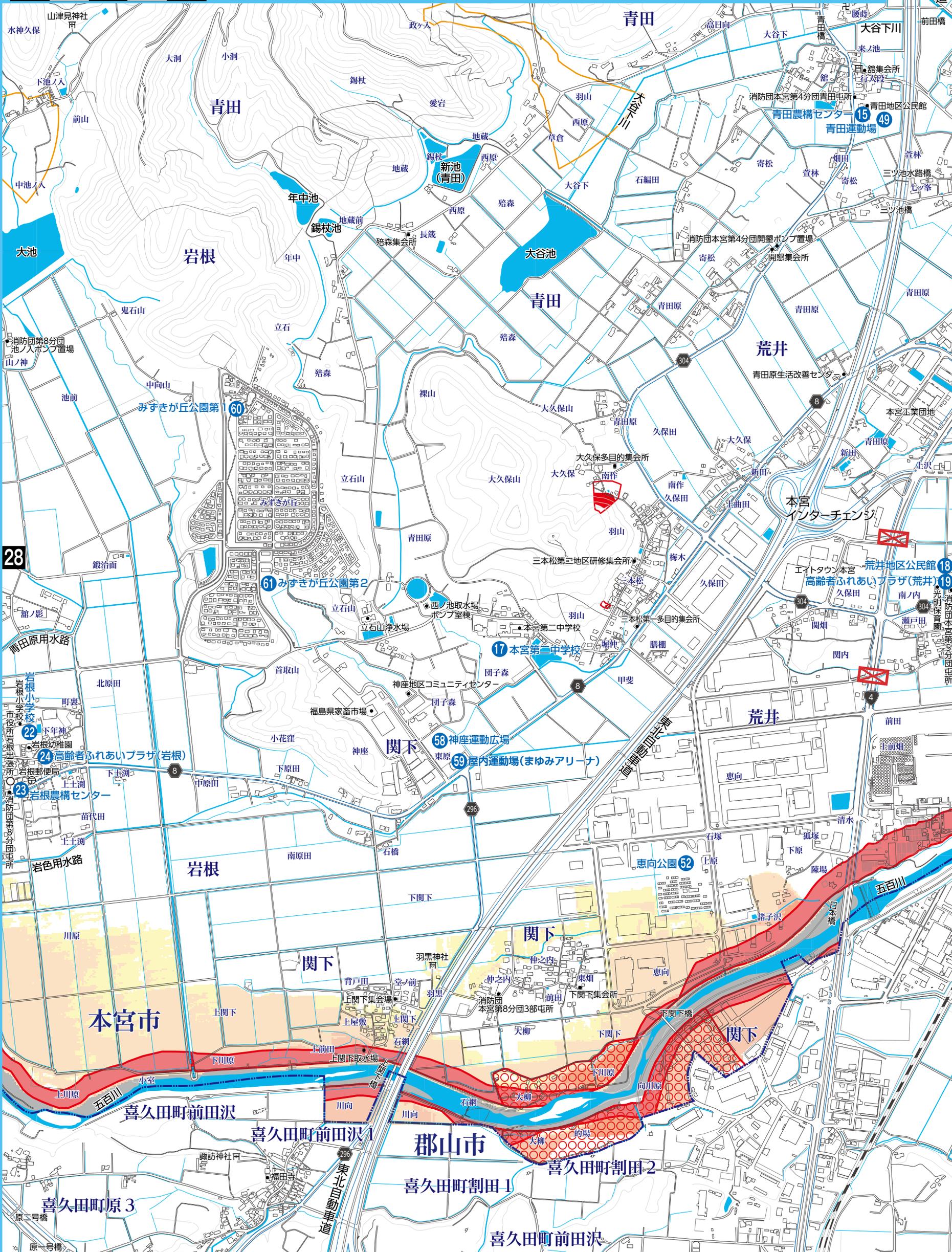
5.0m以上の区域	
3.0~5.0m 未満の区域	
0.5~3.0m 未満の区域	
0.5m未満の区域	

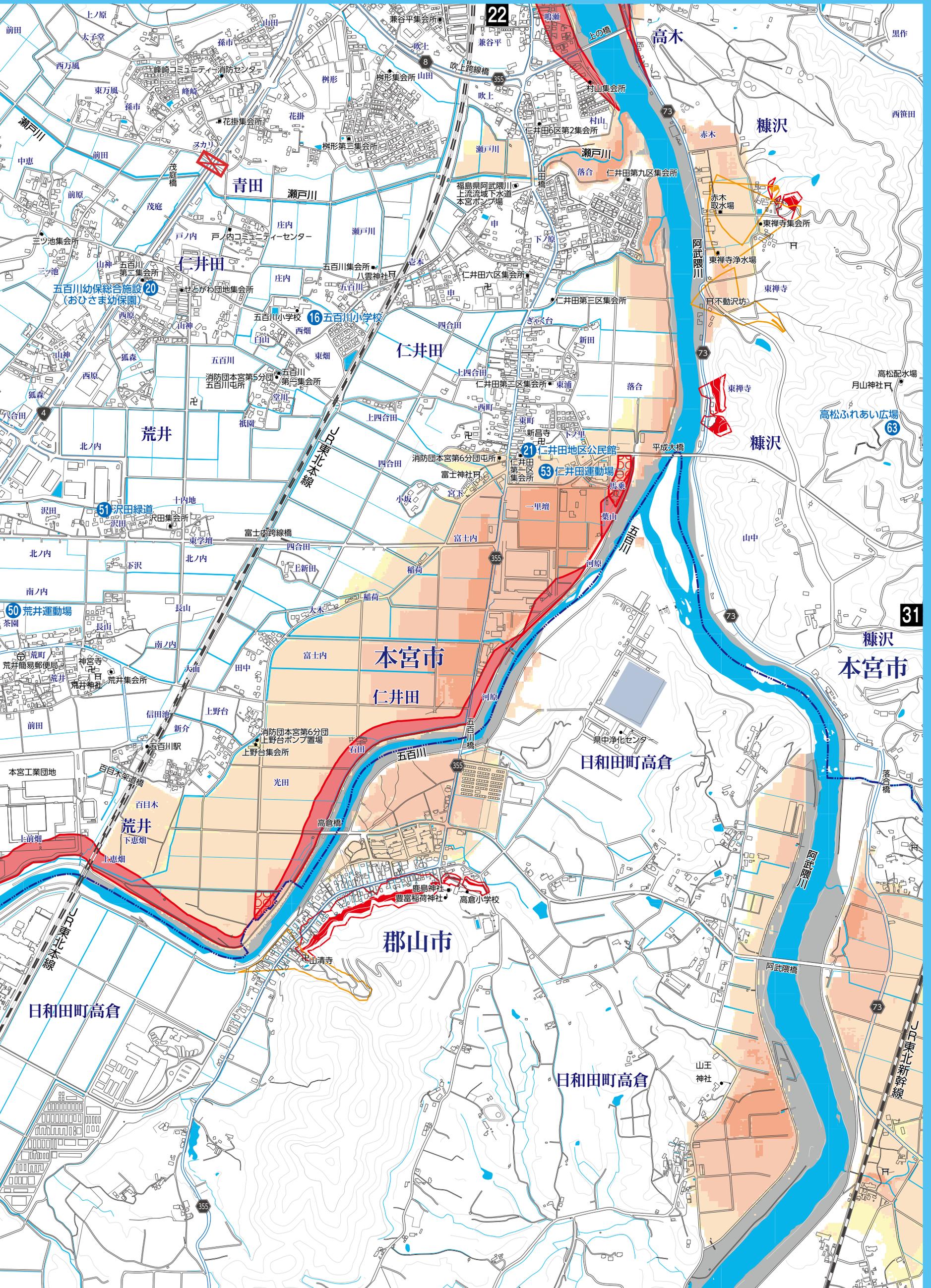
	家屋倒壊(氾濫流)
	家屋倒壊(河岸浸食)
	バッファゾーン
	浸水深の指定はありませんが浸水の恐れがあるエリア

	指定避難所・指定緊急避難場所等
	その他
	アンダーパス

21 (隣接)

東北自動車道





# 詳細図

## No.7

縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	



5.0m以上の区域	
3.0~5.0m未満の区域	
0.5~3.0m未満の区域	
0.5m未満の区域	

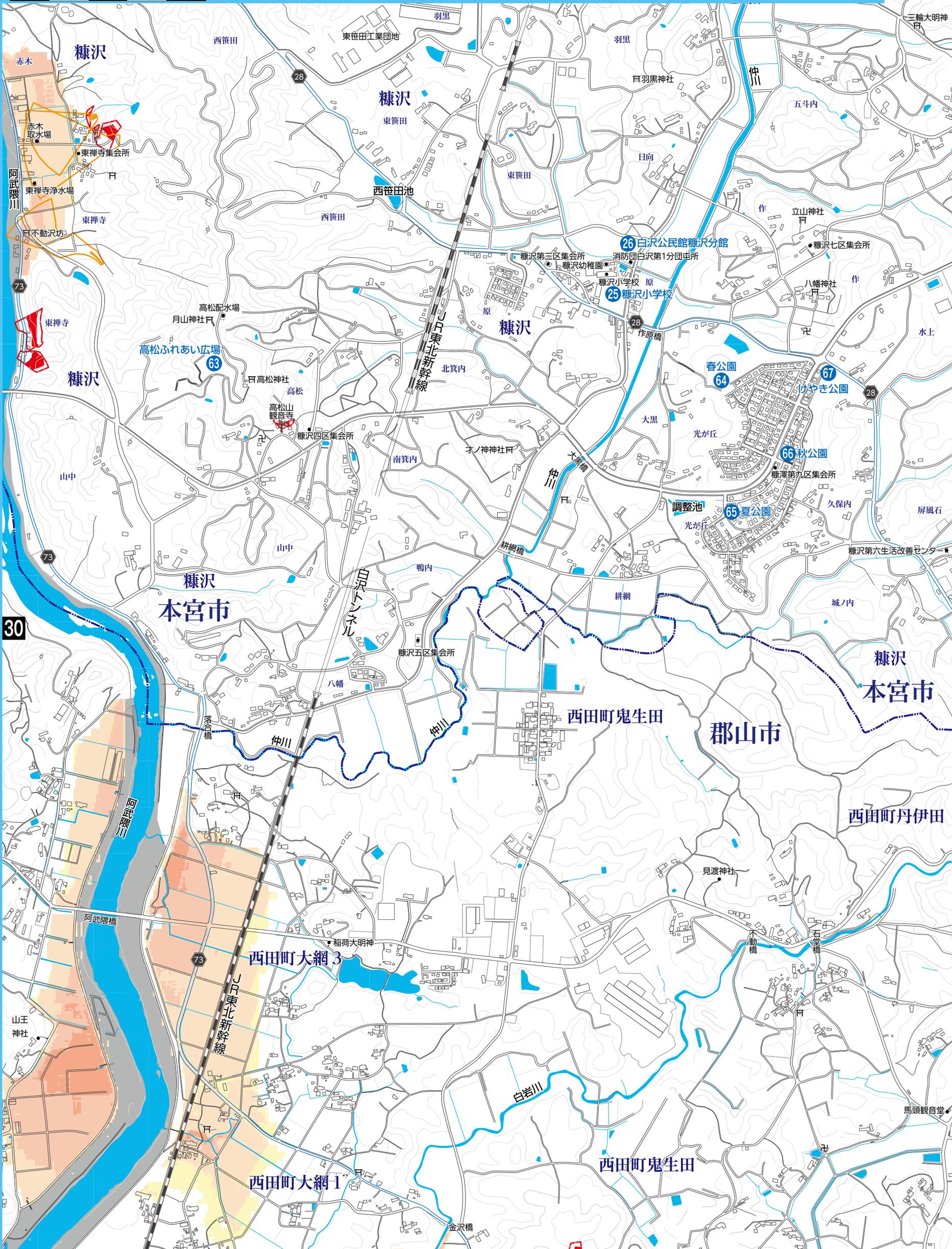
	家屋倒壊(氾濫流)
	家屋倒壊(河岸浸食)
	バッファゾーン
浸水深の指定はありませんが、浸水の恐れがあるエリア	

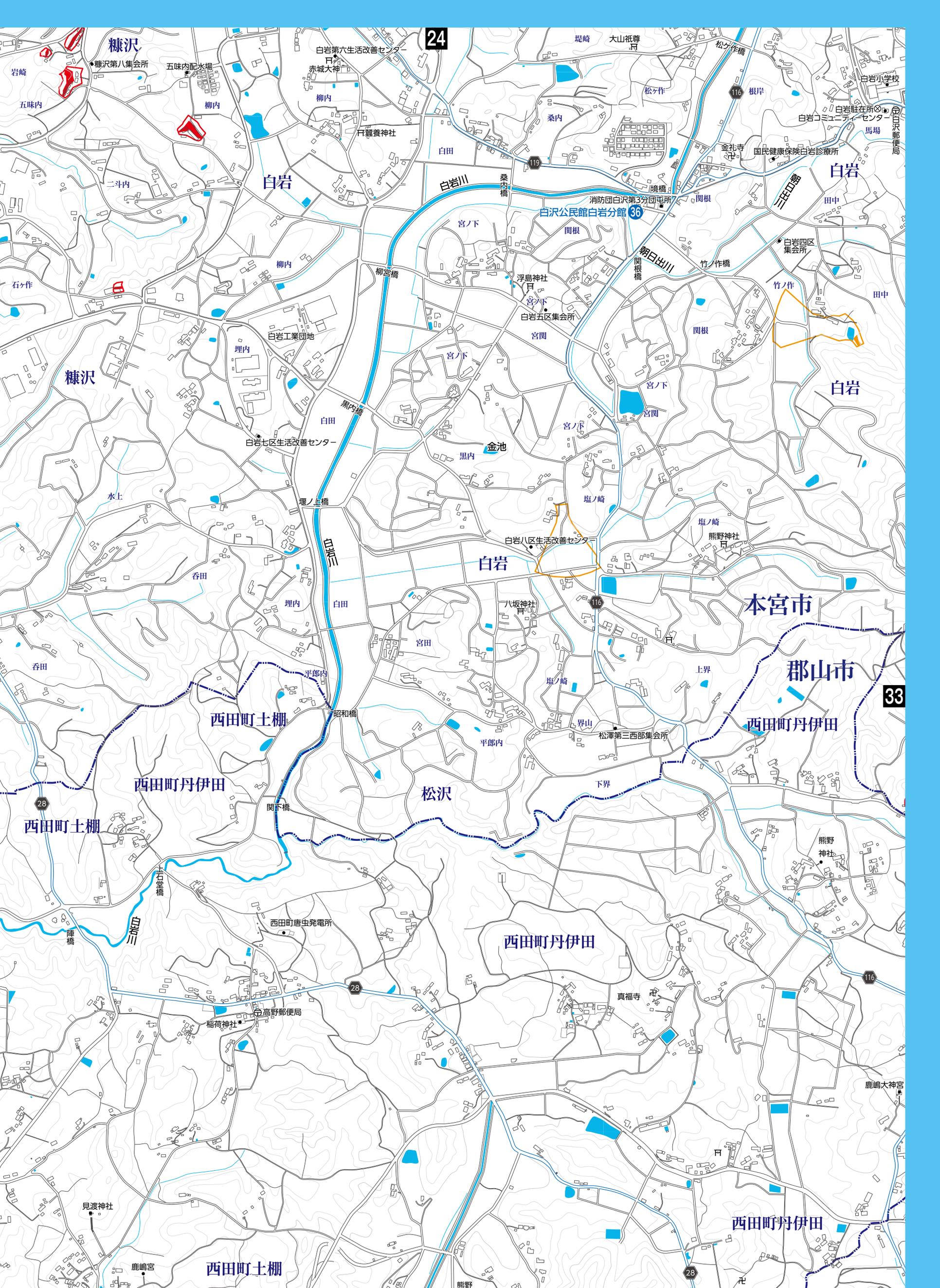
その他

	指定避難所・指定緊急避難場所等
	アンダーパス

23

(隣接)





# 詳細図

## No.8

縮尺 1:12,000

0 100 200 300 400 500m



凡例

土砂災害

土石流 特別警戒区域	
土石流 警戒区域	
急傾斜 特別警戒区域	
急傾斜 警戒区域	



5.0m以上の区域	
3.0~5.0m 未満の区域	
0.5~3.0m 未満の区域	
0.5m未満の区域	

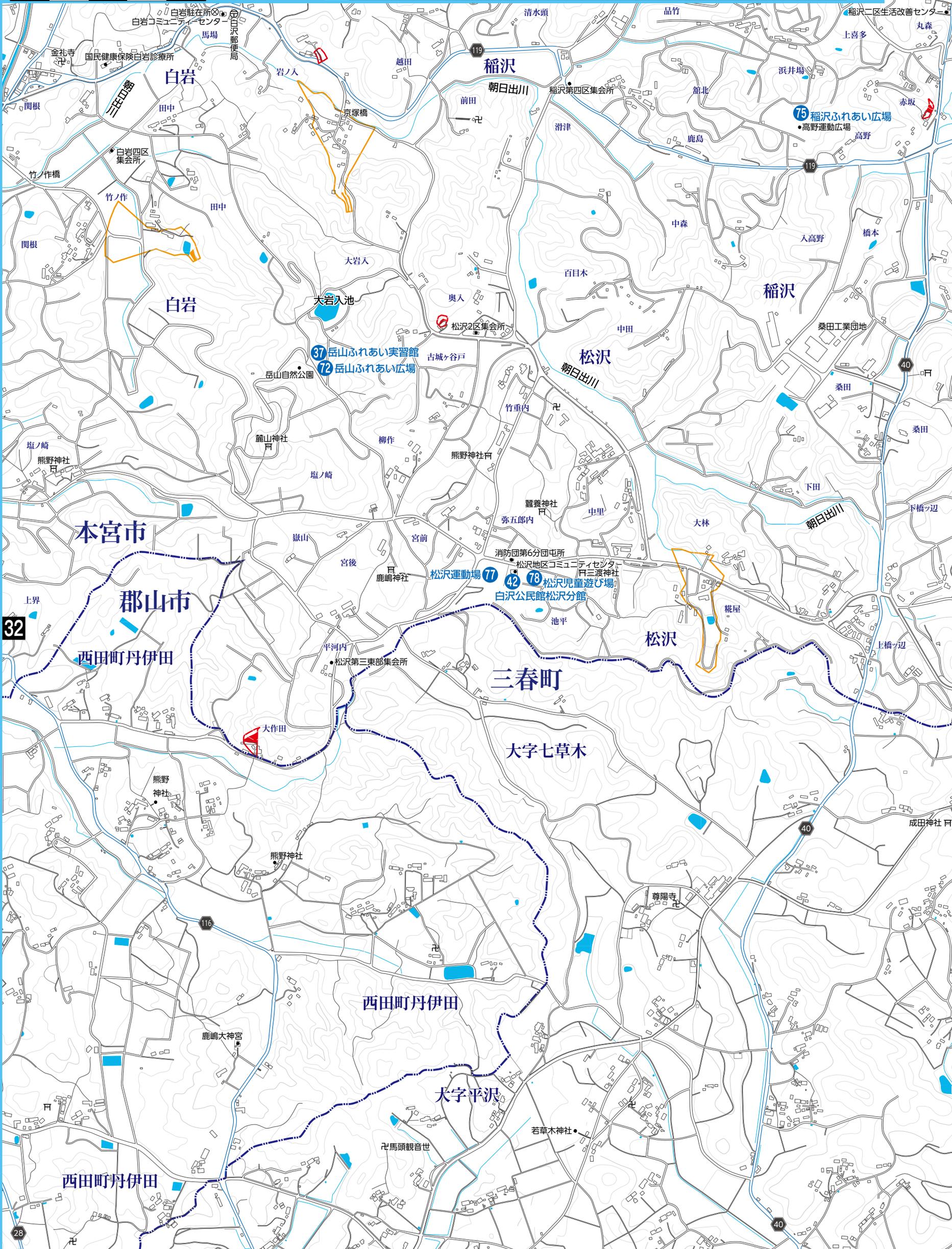
	家屋倒壊(氾濫流)
	家屋倒壊(河岸浸食)
	バッファゾーン
浸水深の指定はありませんが浸水の恐れがあるエリア	

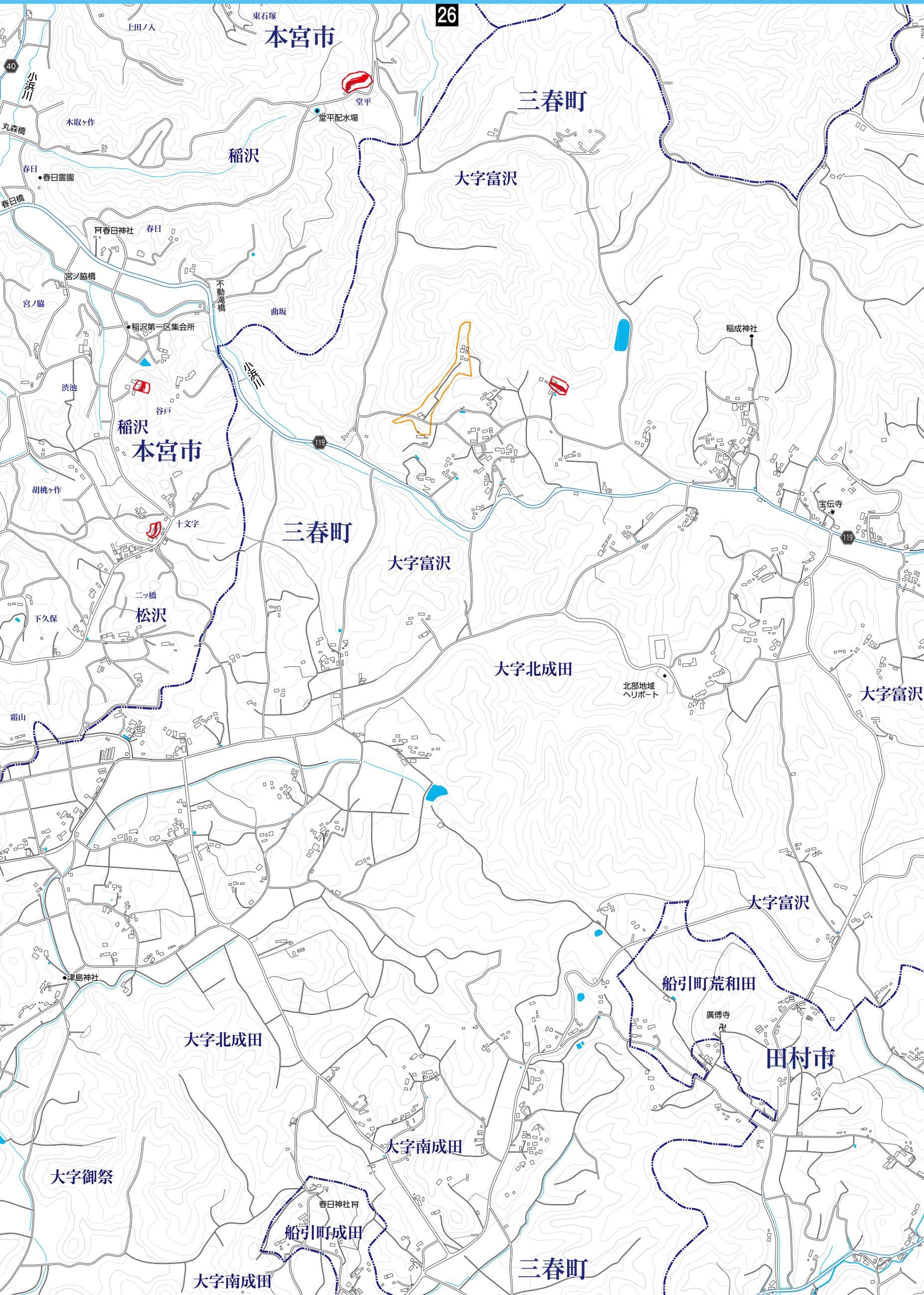
その他

	指定避難所・指定緊急避難場所等
	アンダーパス

25

(隣接)







## 火山災害(融雪泥流)における避難

山に雪がある時期に噴火したとき、噴火の熱で火口周辺の雪が急速に溶けて大量の水となり、溪流沿いの土砂や樹木を巻き込んで一気に流れ下る現象が「融雪による火山泥流」です。

この火山泥流の災害予想区域の外側にある避難所(赤丸●)への避難を想定しておきましょう。

※避難所番号は、「指定緊急避難場所・指定避難所一覧」の番号に対応しています。  
※A~Dは、要配慮者を受け入れる「福祉避難所」として拠点となる避難所です。

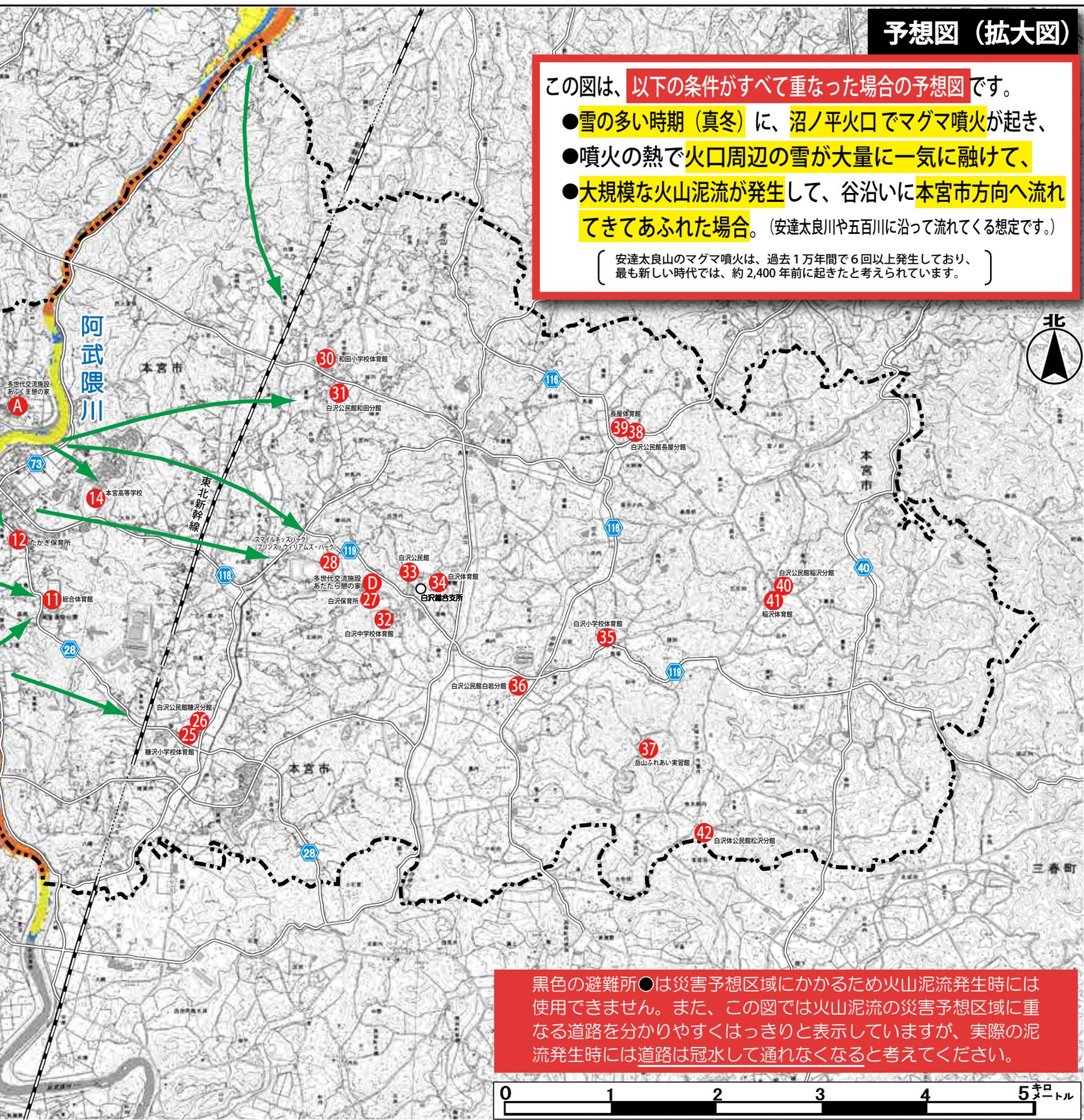
## 火山噴火時に気象庁が発表する主な情報

### ○噴火警報

噴火に伴って、生命に危険を及ぼす火山現象の発生が予想される場合やその危険が及ぶ範囲の拡大が予想される場合に、「警戒が必要な範囲(生命に危険を及ぼす範囲)」を明示して発表されます。安達太良山のような噴火警戒レベルを運用している火山では、噴火警戒レベルを付して発表されます。

### ○噴火予報

火山活動の状況が静穏である場合、あるいは噴火警報には及ばない程度ではあるが、火山活動の状況等を周知する必要があると認められる場合に発表されます。



## 予想図(拡大図)

この図は、以下の条件がすべて重なった場合の予想図です。

- 雪の多い時期(真冬)に、沼ノ平火口でマグマ噴火が起き、
- 噴火の熱で火口周辺の雪が大量に一気に融けて、
- 大規模な火山泥流が発生して、谷沿いに本宮市方向へ流れてきてあふれた場合。(安達太良川や五百川に沿って流れてくる想定です。)

〔安達太良山のマグマ噴火は、過去1万年間で6回以上発生しており、最も新しい時代では、約2,400年前に起きたと考えられています。〕

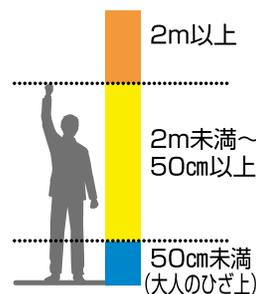
黒色の避難所●は災害予想区域にかかるため火山泥流発生時には使用できません。また、この図では火山泥流の災害予想区域に重なる道路を分かりやすくはっきりと表示していますが、実際の泥流発生時には道路は冠水して通れなくなると考えてください。

## 火山灰が降ったときの注意

- 火山灰は岩石が砕けた粒です。目や肺に入ると健康を害することがありますので、ゴーグルやマスク等で身体を守りましょう。家の中に火山灰を持ち込まないように、カッパや帽子、長袖、長スポンも有効です。
- 積もった火山灰は側溝や下水、川などに流さず、集めて袋詰めしておきましょう。(噴火後に市から廃棄方法が指定されます。)
- 火山灰が道路に積もると、自転車や自動車のブレーキが効きにくくなります。火山灰が5mmくらい積もった場合、雨が降るとぬかるんで自動車がまっすぐ走りにくくなります。また、火山灰が空中に巻き上げられると見通しが悪くなり事故が起きやすくなりますので、交通事故に気をつけましょう。
- 火山灰への対応に詳しい情報の入手先  
(降灰への備え、事前の準備、事後の対応など)  
独立行政法人 防災科学技術研究所「火山情報WEB」  
<http://vivaweb2.bosai.go.jp/ash/>

## 記号と色の意味

融雪による火山泥流の浸水高  
(目安となる氾濫水深)



- 主な指定避難所(番号)
- 使用できない避難所(火山泥流発生時)



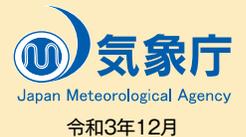
泥流(目安) 1時間以内  
(到達時間の目安)



# 安達太良山の噴火警戒レベル

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況	住民等の行動及び登山者・入山者等への対応	想定される現象等
特別警報	又は噴火警報 (居住地域)	居住地域及びそれより火口側	5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要。	●火口から概ね4km以内の居住地域に大きな噴石が飛散するような噴火が発生、あるいは切迫している(火砕流・火砕サージは居住地域近くまで)。 ●融雪型火山泥流が居住地域に到達、あるいは切迫している。 過去事例 有史以降の事例なし
			4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まっている)。	警戒が必要な居住地域での避難準備等が必要。要配慮者及び特定地域の避難等が必要。	●火口から概ね4km以内の居住地域に大きな噴石が飛散するような噴火の可能性(火砕流・火砕サージは居住地域近くまで)。 ●融雪型火山泥流が居住地域に影響を及ぼす噴火の可能性。 過去事例 有史以降の事例なし
警報	又は火口周辺警報 (火口周辺)	火口から居住地域近くまで	3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。登山禁止・入山規制など危険な地域への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難、要配慮者の避難準備等が必要。	●火口から概ね2.5km以内に大きな噴石が飛散、火砕流・火砕サージ、融雪型火山泥流が流下するような噴火の発生、またはその可能性。 過去事例 1900年7月17日：沼ノ平火口で水蒸気噴火
		火口周辺	2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	住民は通常的生活。火口周辺への立入規制等。状況に応じて特定地域の避難準備等が必要。	●火口から概ね1km以内に大きな噴石が飛散するような噴火の発生、またはその可能性。 過去事例 1899年8月24日：沼ノ平火口で水蒸気噴火
予報	噴火予報	火口内等	1 (活火山であることに留意)	火山活動は静穏。火山活動の状態によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる(この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ)。	状況に応じて火口内への立入規制等。	●火山活動は静穏。 ●状況により火口内に影響する程度の火山灰や火山ガス等の噴出。 過去事例 1996年9月：白色噴煙30m、沼ノ平中央部で泥が噴出し直径100mに飛散 2000年2月：一時的に噴気が300mまで上がる

※特定地域とは、居住地域よりも安達太良山の想定火口に近い所に位置する、または孤立が想定される集客施設を指す。  
居住地域より早期に避難等の対応が必要になることがある。  
※融雪型火山泥流は積雪期のみ想定される。  
■最新の噴火警戒レベルは気象庁HPでもご覧になれます。 <https://www.jma.go.jp/jma/index.html>



## 火山灰の降灰エリア・降灰後の土石流ハザードマップ

沼ノ平火口の上空の風向きが北西からのとき、火山灰が本宮市方向に降ります。  
山の斜面に火山灰が積もると、その後の雨で土石流が発生しやすくなります。



噴火によって山の斜面に火山灰が多く積もると、地表面が火山灰で覆われてしまい、雨水が地面の中へしみ込みにくくなります。そのため、たとえ少量の降雨であっても、地面にしみ込まなかった雨水が谷底に急速に集まり、一気に増えた水かさによって土石や樹木が押し流される土石流が発生しやすくなります。

1991年(平成3年)の雲仙普賢岳、2000年(平成12年)の有珠山や三宅島の噴火でも降灰後の降雨による土石流で多くの被害が発生しました。

●左の図の赤点線は、沼ノ平火口で大規模なマグマ噴火が起きた場合で、かつ、風向きが北西から風が吹いた場合の本宮市方面の火山灰の想定厚さを示した予想図です。

●また、図の着色部(■)は、噴火によって火山灰が積もった後に降雨によって発生する可能性がある「降灰後の土石流」の予想図です。

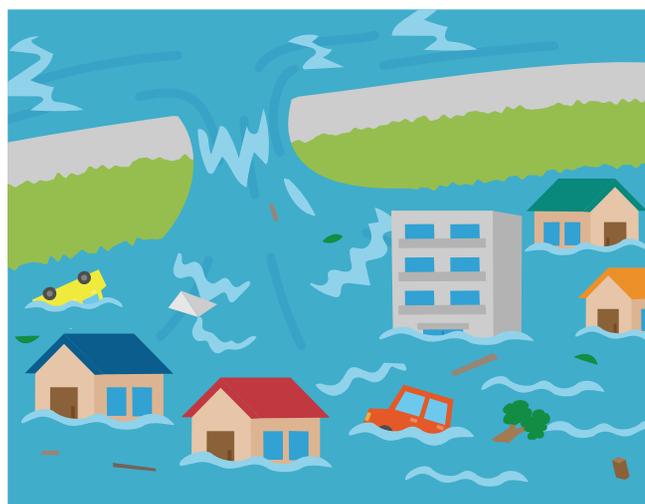
●この図は、それぞれの渓流の源流域に火山灰が多く積もり、その後100年超過確率の雨(日雨量約410mm)が降った場合に発生する可能性がある土石流について想定しています。この「降灰後の土石流」が流れてくる渓流や土石流の規模は、火山灰の積もる範囲、降った雨の量などで変わってきます。

# ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、万が一決壊した場合の備えとして、浸水の深さや避難所などをハザードマップとして地図上に整理しました。

浸水の特徴を理解して、地域住民が話し合い、ハザードマップを理解することで、防災情報を得た際に正しい判断・行動がとれるようになります。

普段から家族や地域のみなさんと話し合しましょう。



## ハザードマップ作成の目的

ため池ハザードマップは、万が一の事態でため池が決壊した場合、最大でどの程度の浸水範囲となるかを知るために最悪の状況を想定した浸水予測を行いました。

住民のみなさんがハザードマップを通じて、想定される災害を事前に知り、自らの避難を考え、地域の防災力向上につながることを目的にしています。

## ハザードマップの作成条件

現在起こりえる最大の危機を想定しました。

ため池が満水の状態で、貯水の全量が下流域に流れ出す場合を想定しております。

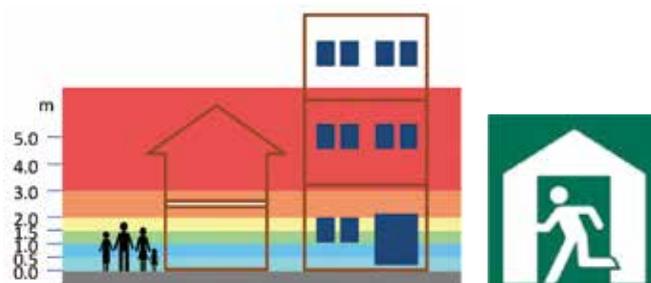
## いざという時には

- 避難は可能な限り浸水が始まる前に
- 動きやすい服装で、持ち出し品は最小限に
- 必ず徒歩で!足下に注意して避難
- ため池近隣にお住まいの方は、速やかに高台へ避難
- ため池から離れた場所にお住まいの方は、建物の2階などに避難し、水が引いたら指定の避難所へ避難



## ハザードマップに載せる情報

- 場所ごとの浸水する深さ  
場所ごとの浸水する深さを色分けして地図上に表示しました。
- 到達時間  
ため池の水が到達するまでの時間を表示しました。
- 避難場所  
避難する場所を地図上に表示しました。



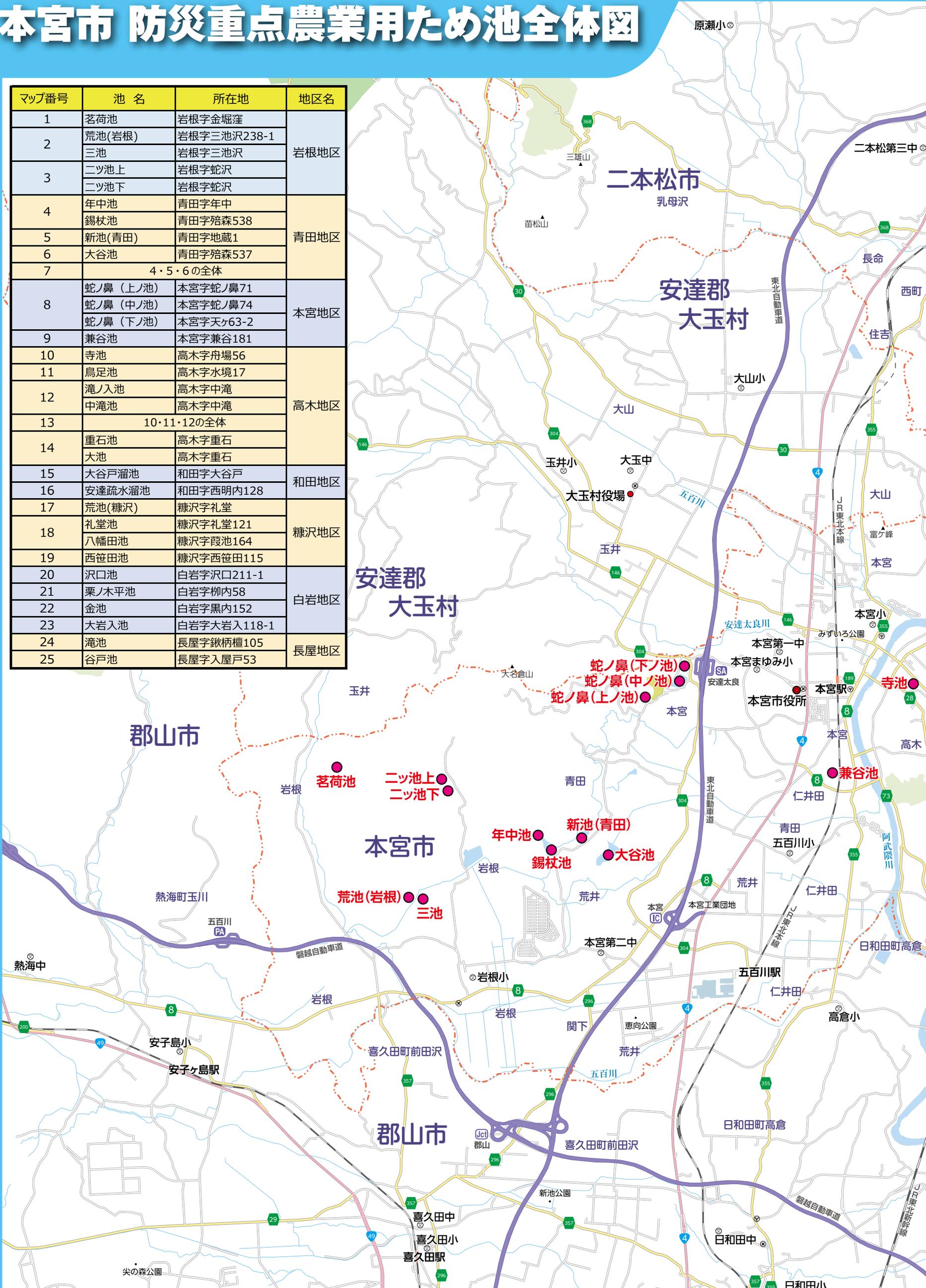
## 住民行動

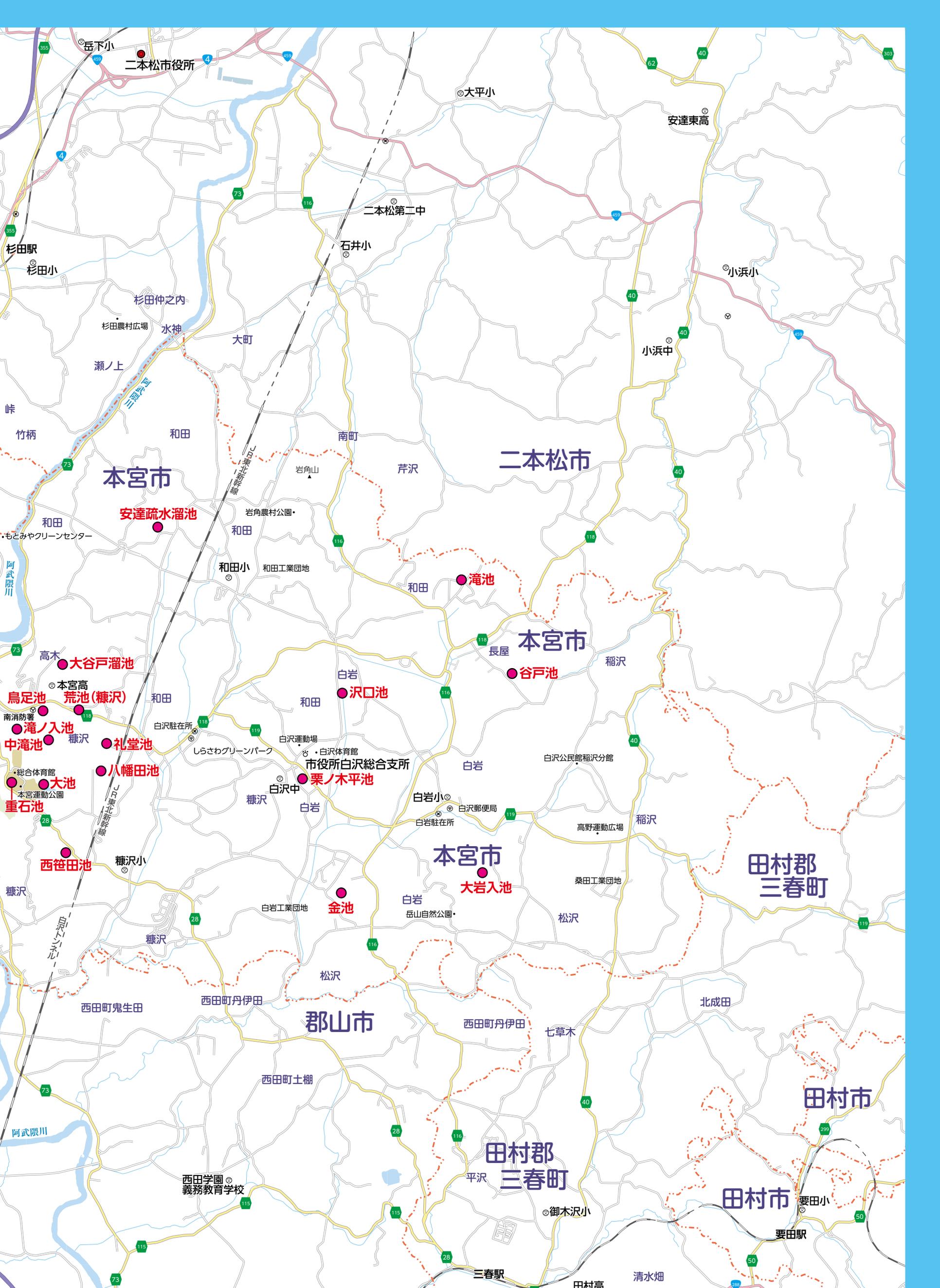
ため池の異常に  
気がいたら  
すぐに連絡・通報!

- 警察…110
- 消防…119
- 本宮市(33-1111)

# 本宮市 防災重点農業用ため池全体図

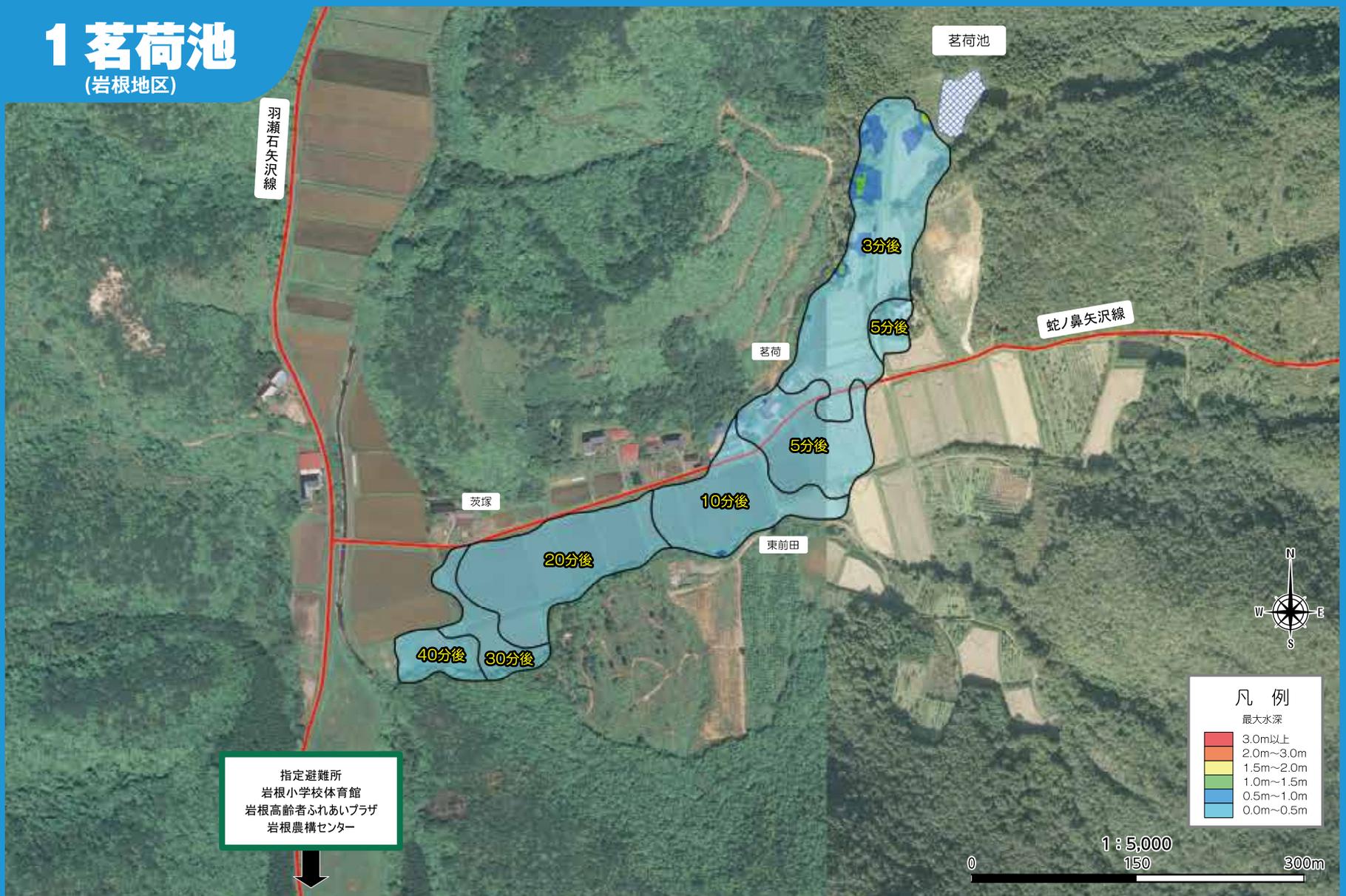
マップ番号	池名	所在地	地区名
1	茗荷池	岩根字金堀窪	岩根地区
2	荒池(岩根)	岩根字三池沢238-1	
3	三池	岩根字三池沢	
4	二ツ池上	岩根字蛇沢	青田地区
	二ツ池下	岩根字蛇沢	
5	年中池	青田字年中	
6	錫杖池	青田字碓森538	
7	4・5・6の全体		本宮地区
8	蛇ノ鼻(上ノ池)	本宮字蛇ノ鼻71	
9	蛇ノ鼻(中ノ池)	本宮字蛇ノ鼻74	兼谷池
	蛇ノ鼻(下ノ池)	本宮字天ヶ63-2	
10	兼谷池	本宮字兼谷181	高木地区
11	寺池	高木字舟場56	
12	鳥足池	高木字水境17	
13	10・11・12の全体		
14	重石池	高木字重石	和田地区
	大池	高木字重石	
15	大谷戸溜池	和田字大谷戸	糠沢地区
16	安達疏水溜池	和田字西明内128	
17	荒池(糠沢)	糠沢字礼堂	白岩地区
18	礼堂池	糠沢字礼堂121	
19	八幡田池	糠沢字葎池164	
20	西笹田池	糠沢字西笹田115	長屋地区
21	沢口池	白岩字沢口211-1	
22	栗ノ木平池	白岩字柳内58	
23	金池	白岩字黒内152	長屋地区
24	大岩入池	白岩字大岩入118-1	
25	滝池	長屋字鍬柄檀105	
26	谷戸池	長屋字入屋戸53	





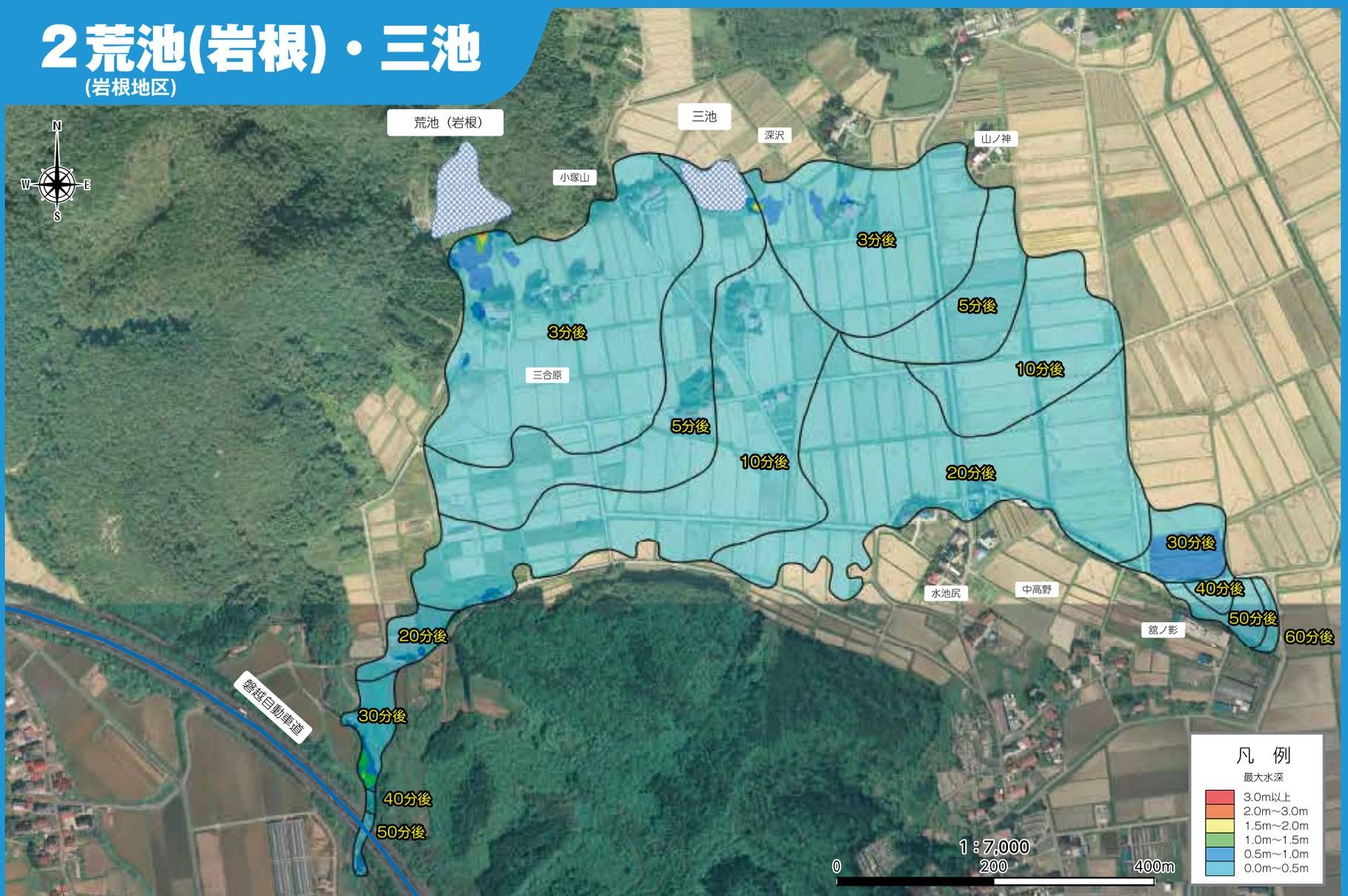
# 1 茗荷池

(岩根地区)

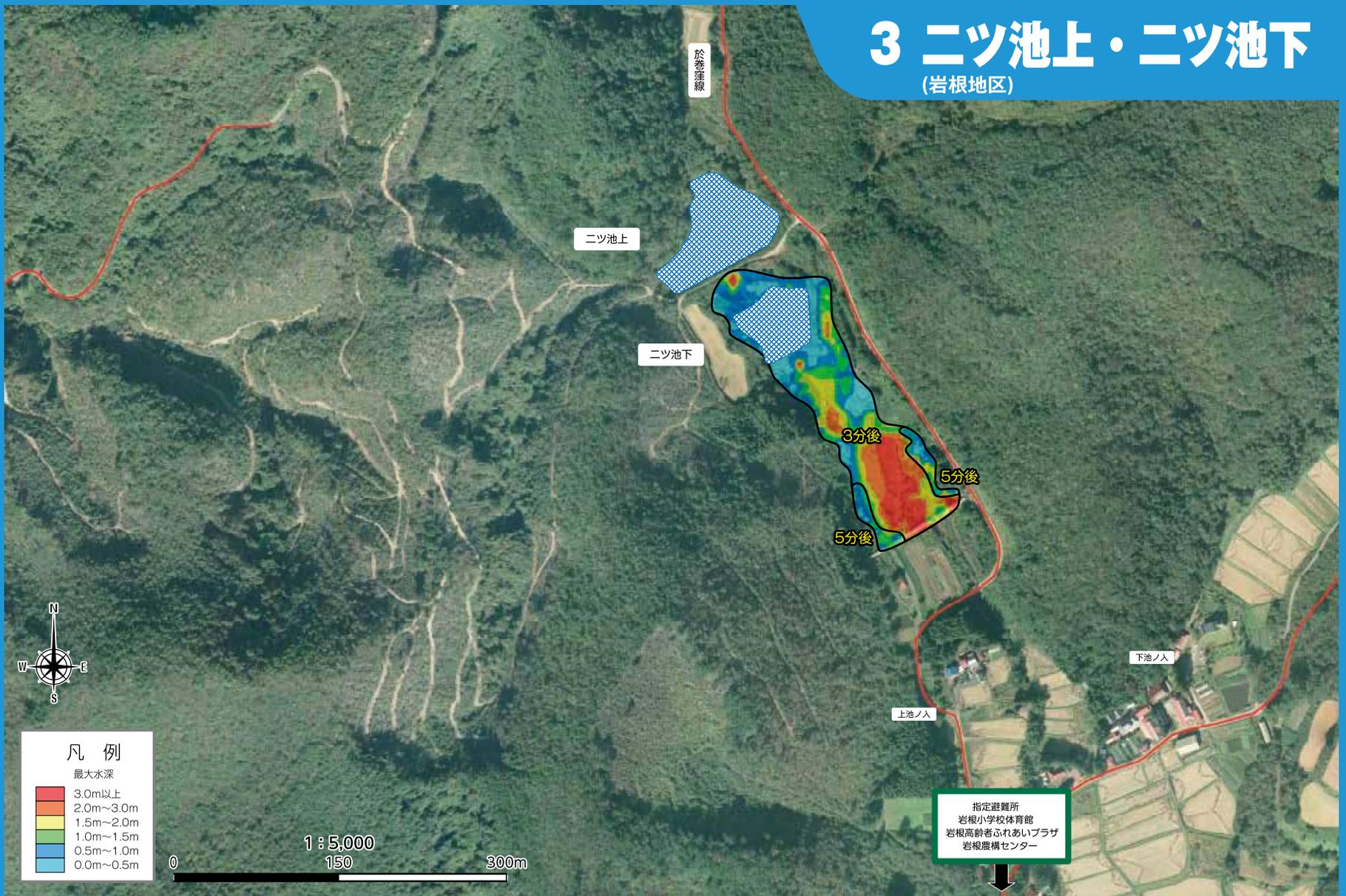


# 2 荒池(岩根)・三池

(岩根地区)



### 3 ニツ池上・ニツ池下 (岩根地区)

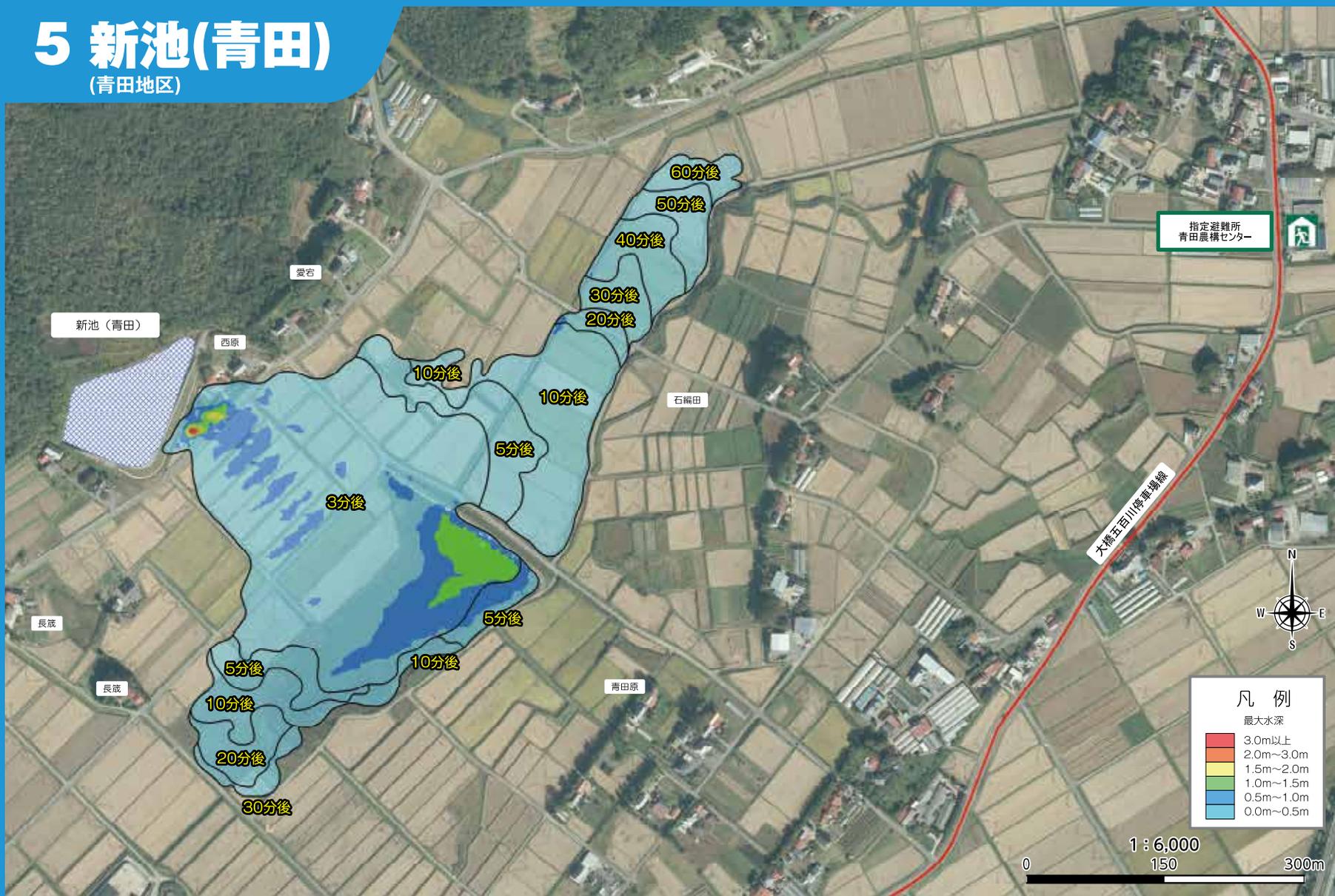


### 4 年中池・錫杖池 (青田地区)



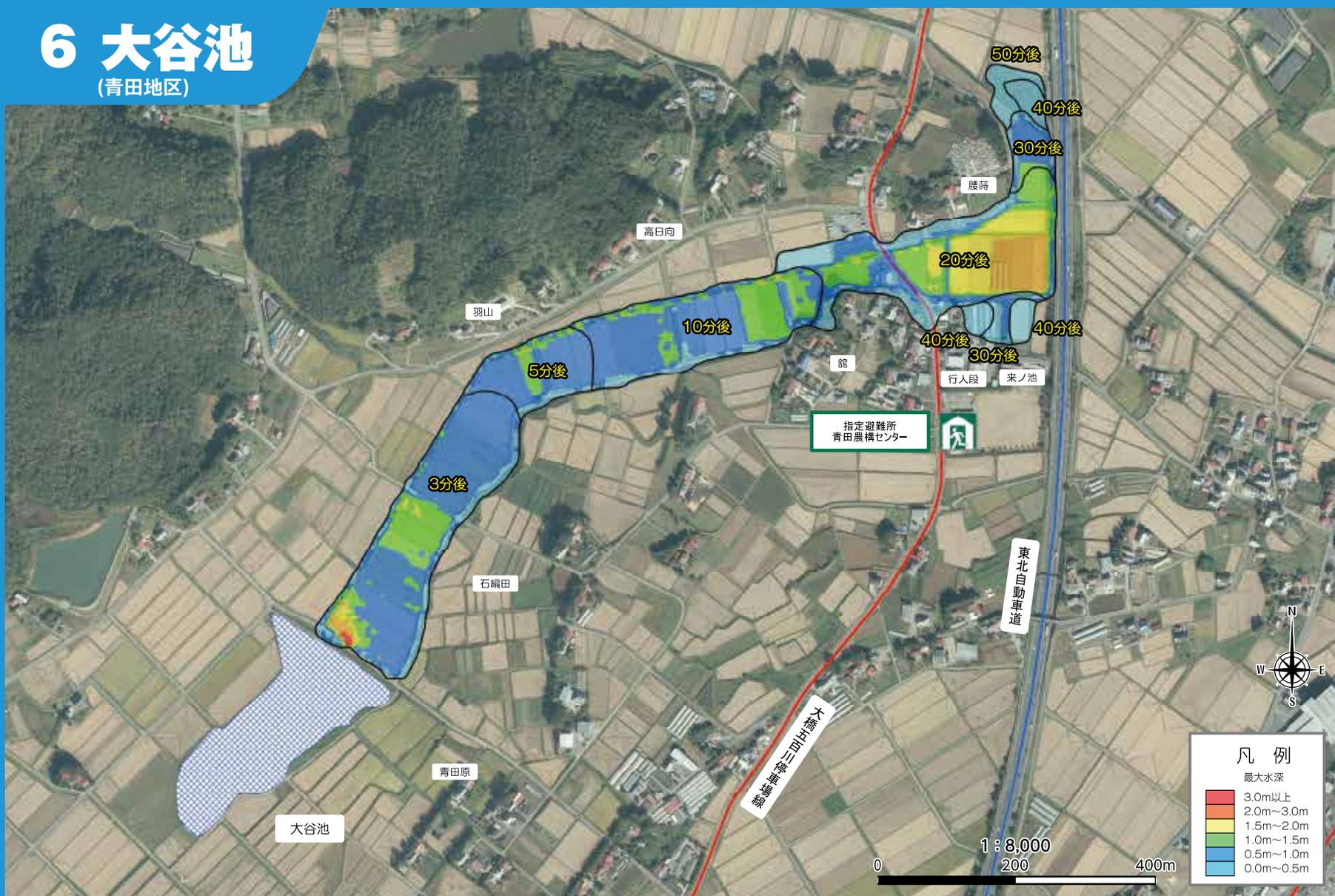
# 5 新池(青田)

(青田地区)



# 6 大谷池

(青田地区)



# 7 年中池・錫杖池・新池(青田)・大谷池

(青田地区)



# 8 蛇ノ鼻(上ノ池・中ノ池・下ノ池)

(本宮地区)



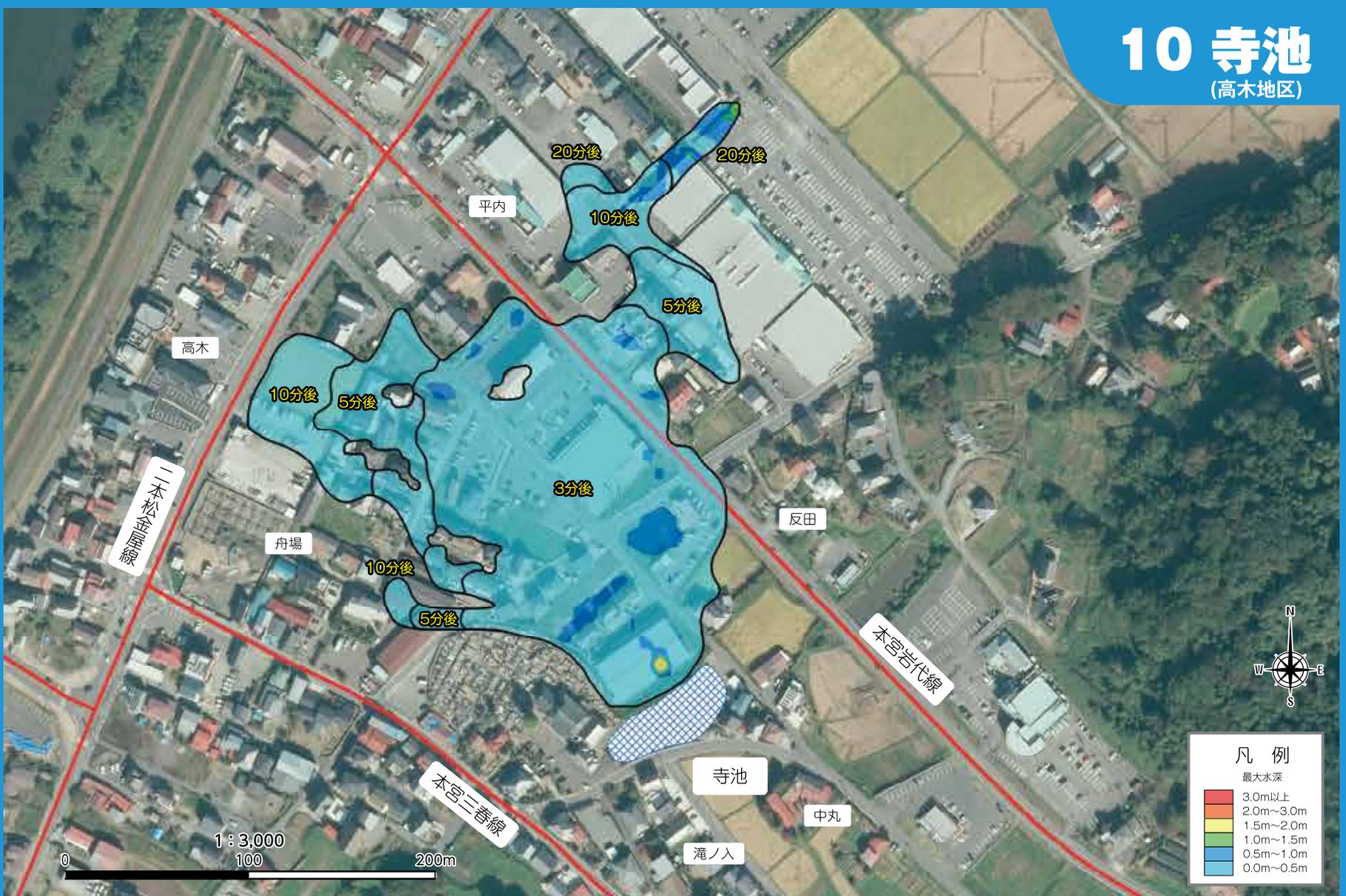
# 9 兼谷池

(本宮地区)



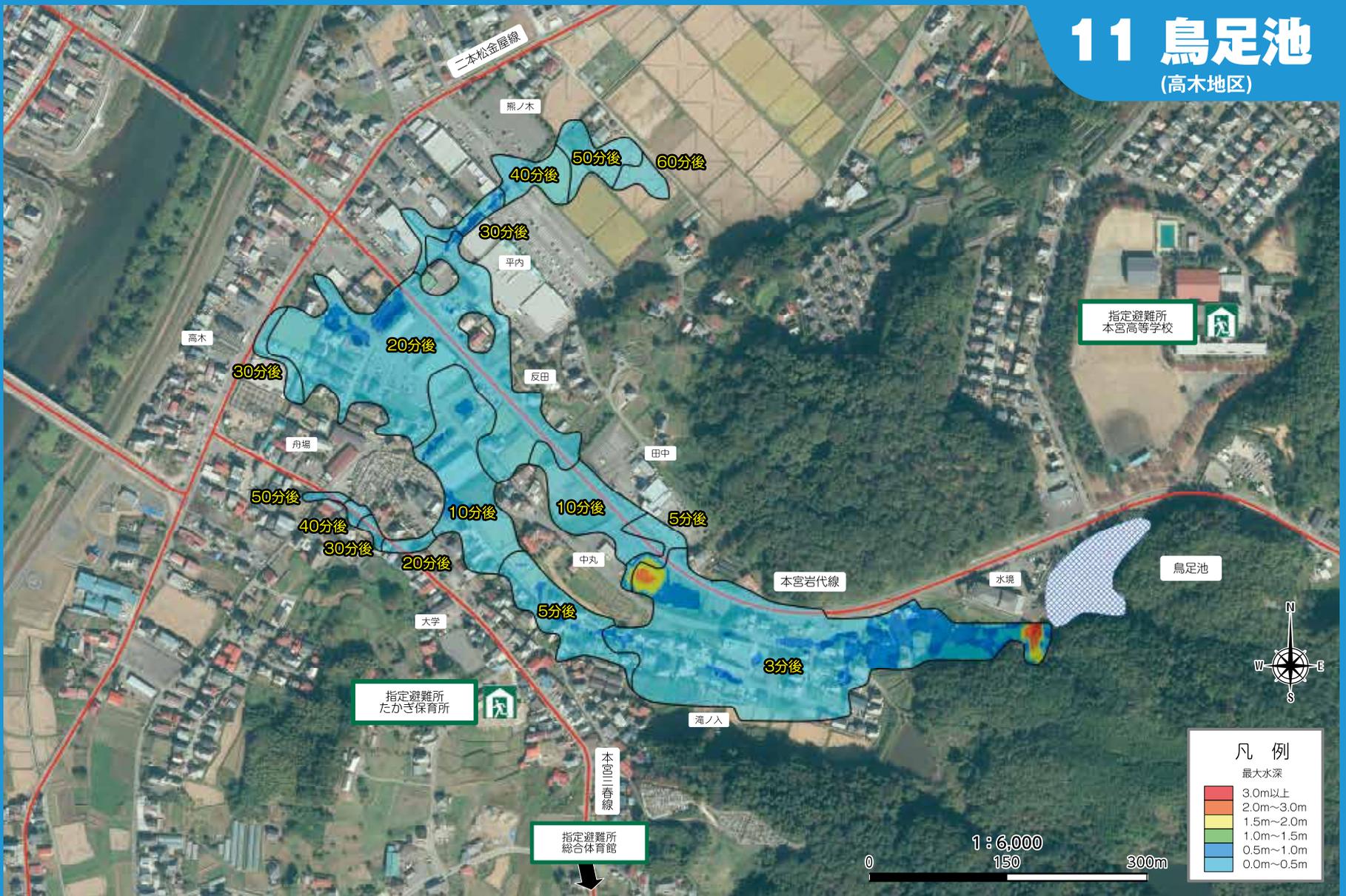
# 10 寺池

(高木地区)



# 11 鳥足池

(高木地区)



# 12 滝ノ入池・中滝池

(高木地区)



# 13 寺池・鳥足池・滝ノ入池・中滝池

(高木地区)



# 14 重石池・大池

(高木地区)



# 15 大谷戸溜池

(和田地区)



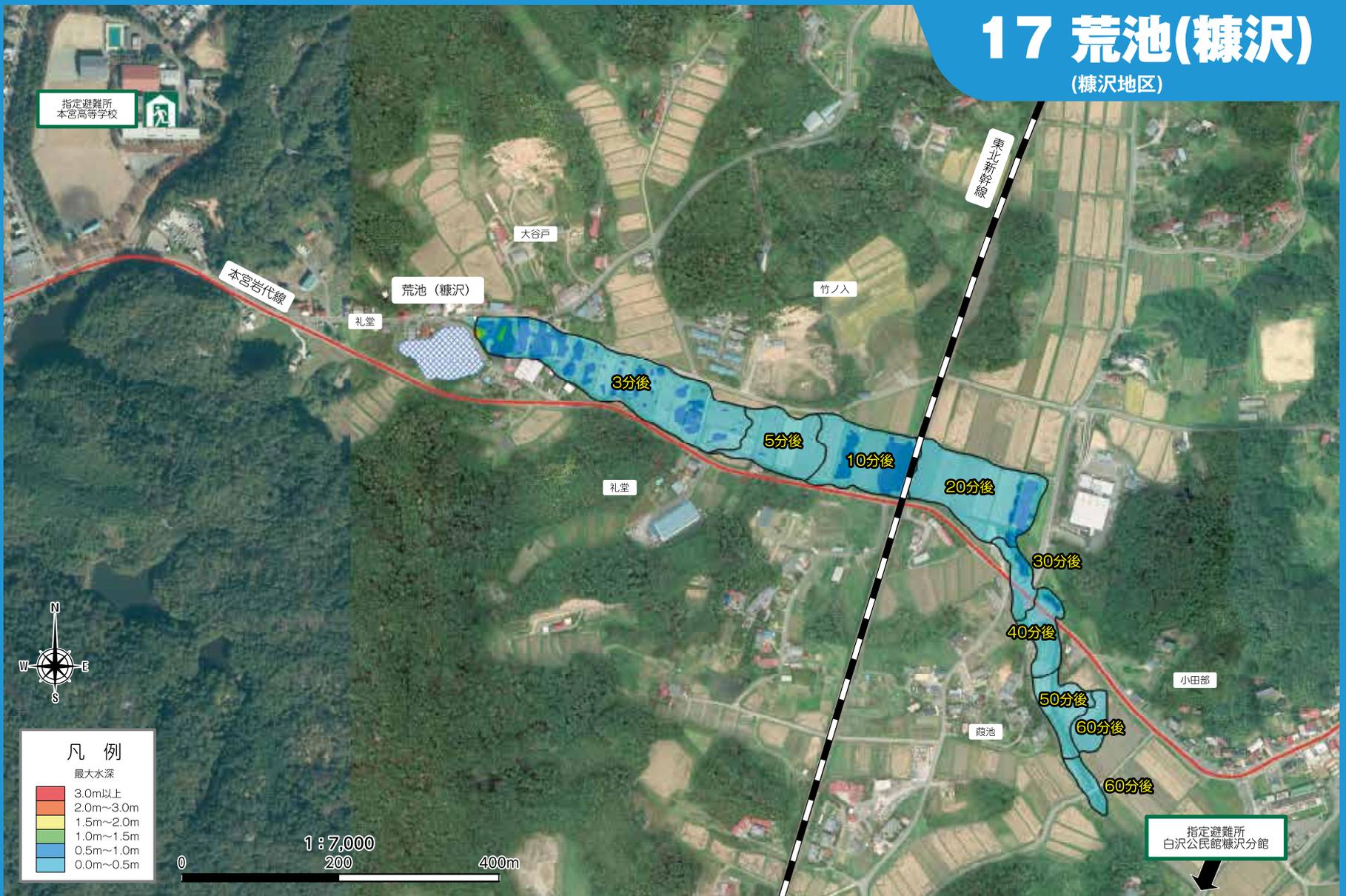
# 16 安達疏水溜池

(和田地区)



# 17 荒池(糠沢)

(糠沢地区)



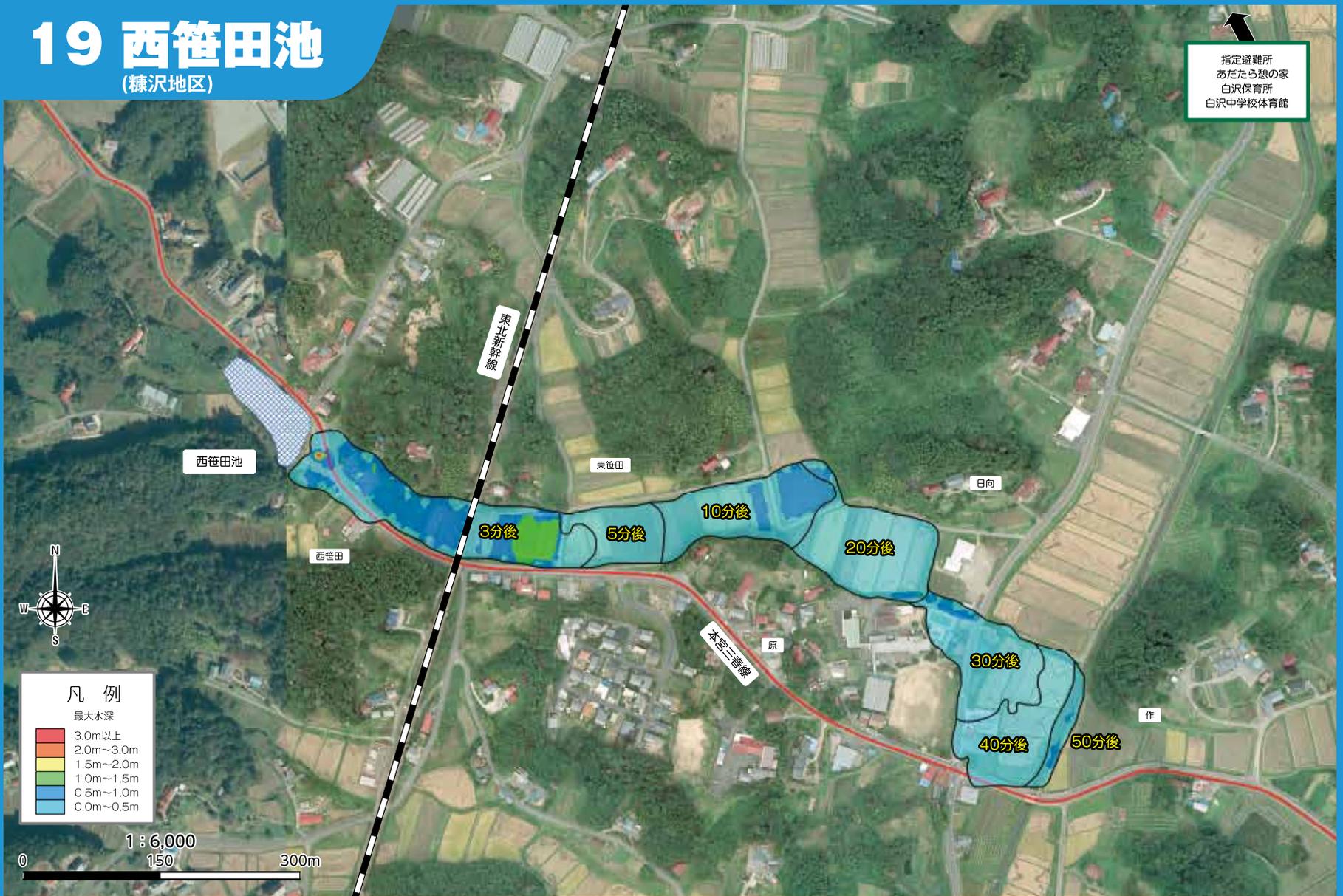
# 18 礼堂池・八幡田池

(糠沢地区)



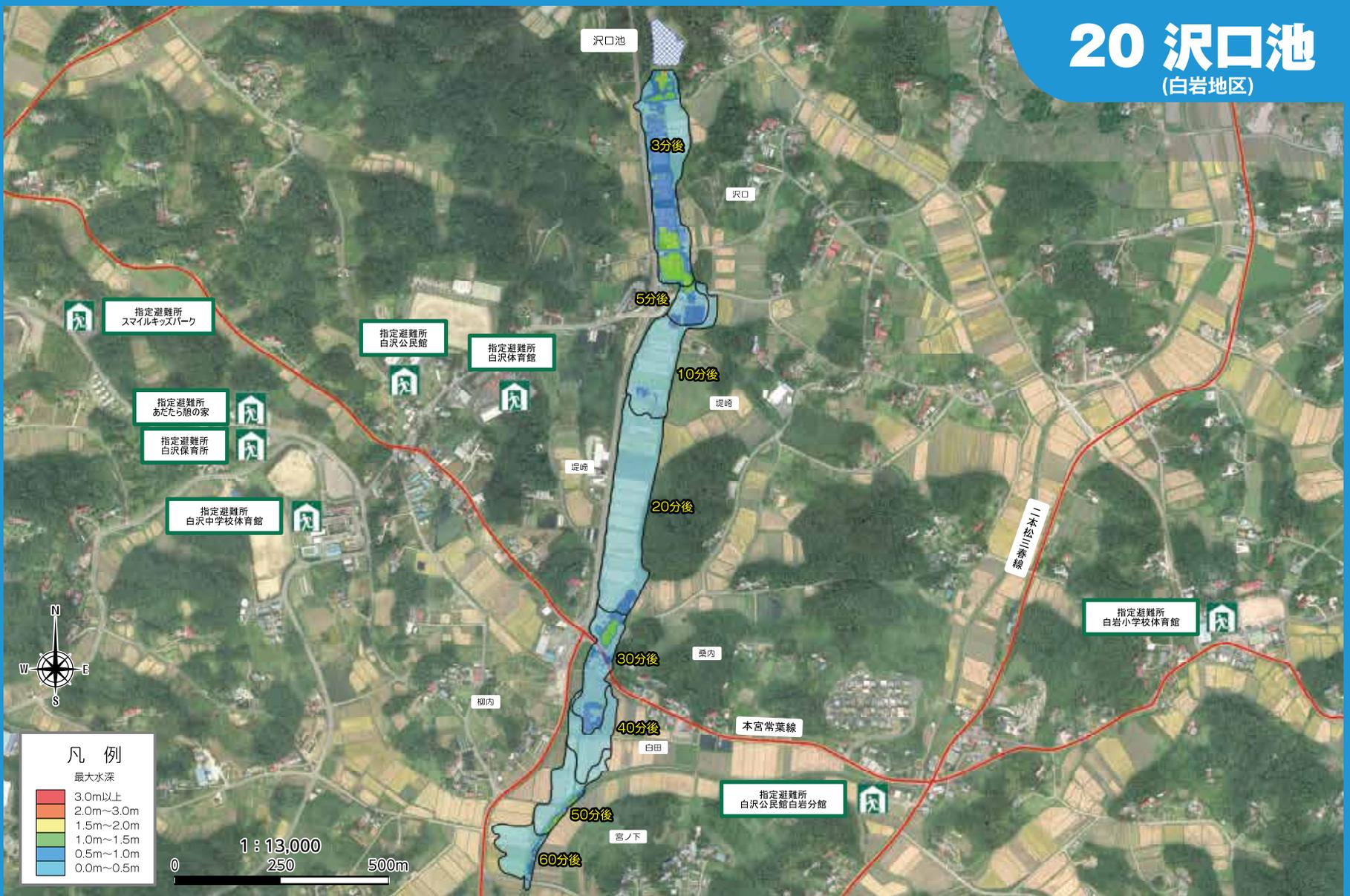
# 19 西笹田池

(糠沢地区)



# 20 沢口池

(白岩地区)



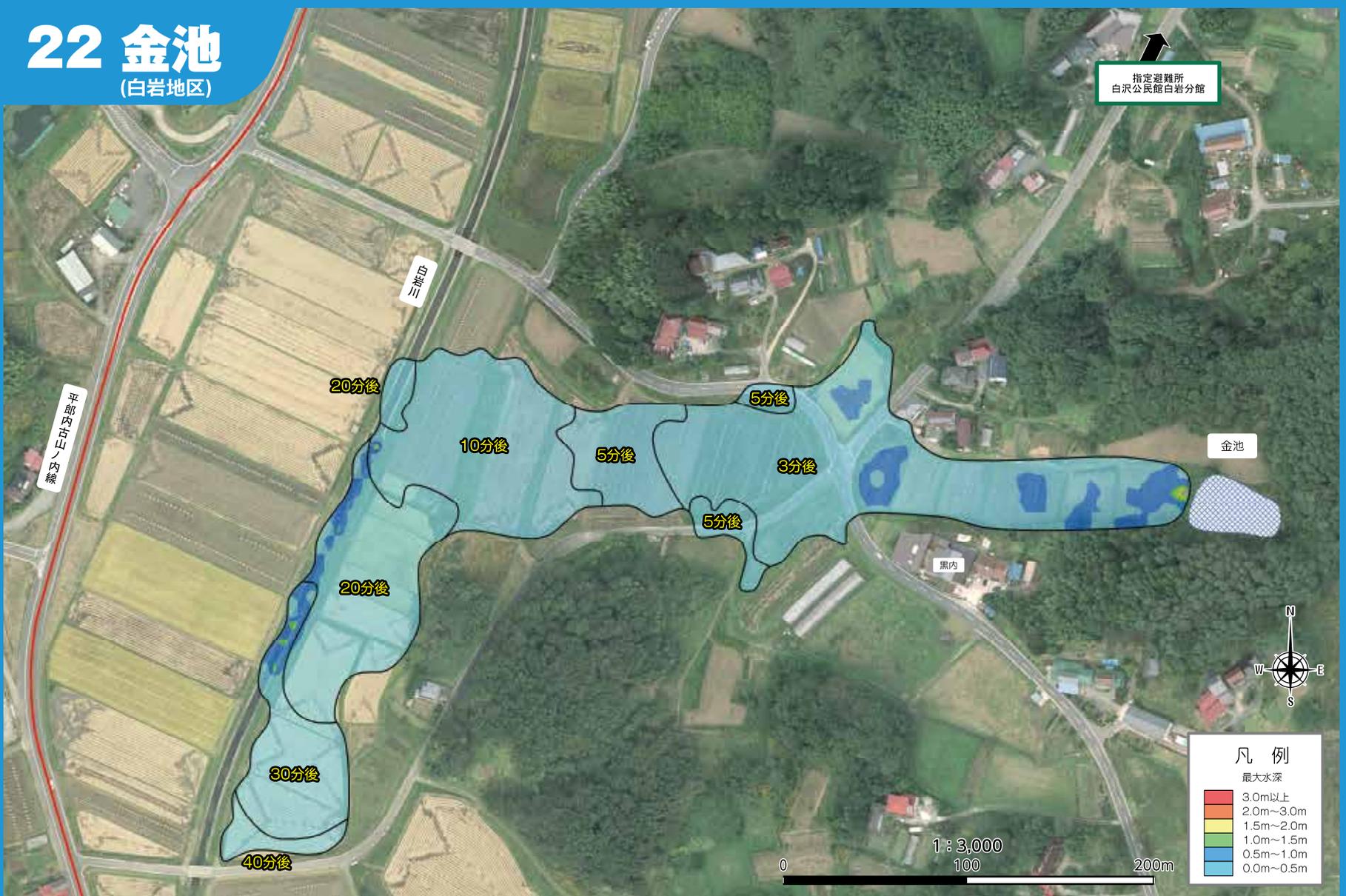
# 21 栗ノ木平池

(白岩地区)



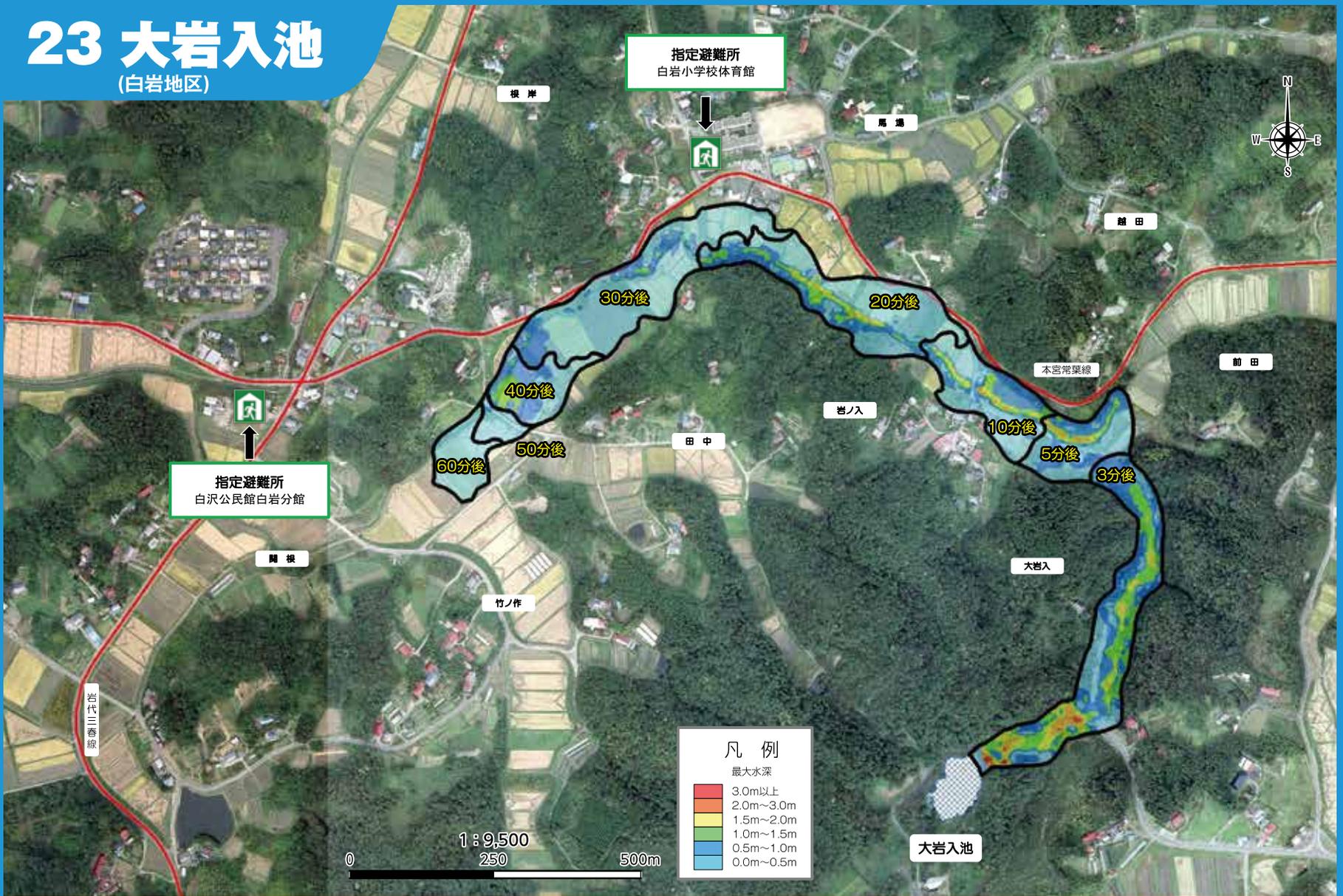
# 22 金池

(白岩地区)



# 23 大岩入池

(白岩地区)



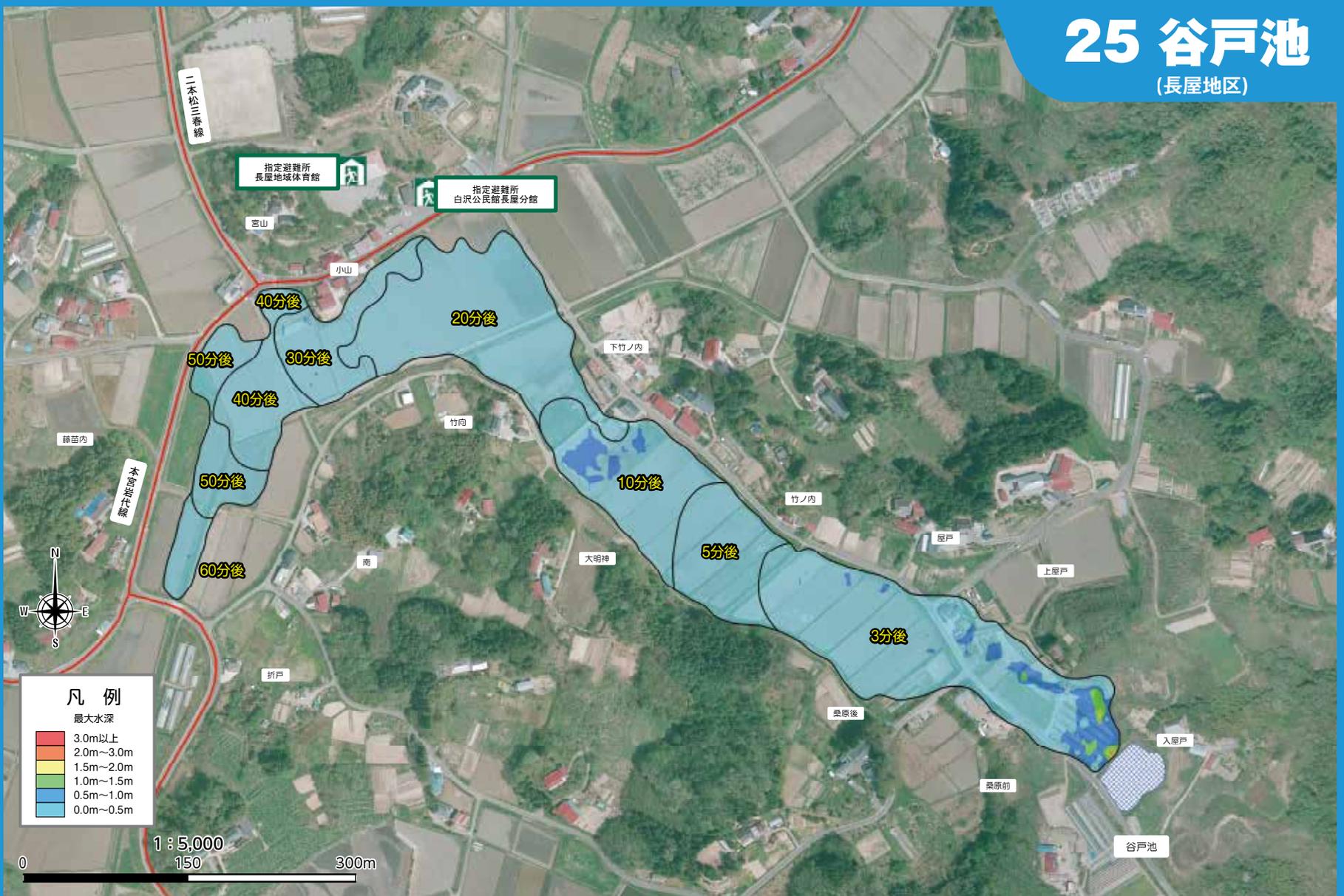
# 24 滝池

(長屋地区)



# 25 谷戸池

(長屋地区)



## 防災重点農業用ため池について

防災重点農業用ため池とは、農業用ため池のうち、決壊により周辺地域に人的被害が及ぶことが懸念されるとして特措法に基づき都道府県知事が指定したものです。【令和3年12月現在、本宮市内において31箇所が指定を受けております。】



## 地図を見るポイント

- 地図に示してある凡例を参考に、「どこに」「どのような」浸水が想定されているかを確認しましょう。(浸水想定区域では、水だけではなく、土砂や流木、地図上にある様々なものが押し流されてくる可能性があります。)
- 災害の状況によっては、避難所へ向かう経路が危険な場合がありますので、迂回路も考え十分注意し避難しましょう。
- 災害の発生を想定し、避難完了までを考えてみましょう。  
そのために、地図を持ち自分の家から避難所まで歩き、実際の距離感や、危険と思われる箇所(地震時に崩れそうなブロック塀や大雨の時に危険と思われる場所)や逃げ込める高い場所(高台など)をあらかじめ確認しておきましょう。

# 本宮市防災ラジオ

(本宮市からの防災行政無線を一般の家庭で受信できる自動起動FM緊急防災ラジオ)

災害時には的確な情報を発信し本宮市で暮らす住民の皆さまを守ります。

災害が発生  
しました!!

- 避難指示など避難に関する情報
- 緊急地震速報
- 気象(大雨、防風等)特別警報
- 国民保護(武力攻撃、ミサイルなど)に関する情報
- その他の市民周知が必要な緊急情報

## ～本宮市にお住まいになられた皆さまへ～

住民登録をされて本市にお住まいになっている世帯主の方には、本宮市防災ラジオの設置をお勧めしております。防災ラジオの貸出しをご希望の方は、下記事項にご留意いただき、市民部防災対策課までお越しください。



### 【留意事項】

- 防災ラジオは貸与品になります。故意と思われる破損は弁償の対象となります。
- 借用していただく際に**身分証明書**が必要となります。
- 貸出しは住民票が本宮市にある世帯主を対象に実施しており、1世帯につき1台とさせていただきます。
- **転出される場合は、返却いただく必要があります。**
- ご自宅の周辺に山や大きな建物等があると電波が受信できない場合があります。その場合は、屋外アンテナを設置していただくようになりますので、市役所市民部防災対策課にご相談ください。

問合せ先 市民部防災対策課 TEL:0243-24-5365

# Jアラート(全国瞬時警報システム)での情報伝達

J-ALERT(ジェイアラート)をごぞんじですか。 J-ALERTとは、総務省消防庁の「全国瞬時警報システム」の通称で、国から発令された警報を、人工衛星を介して各自治体の防災無線を自動的に起動し、音声で住民にお知らせするものです。最大の特徴は、対処に時間的余裕がない大規模な自然災害や弾道ミサイル攻撃等についての情報を、「国から住民まで瞬時に伝達する」ことができる点です。

また、現在は、この地方公共団体経由による情報伝達とは別に、国から携帯電話会社に配信したJアラート情報を個々の携帯電話利用者にメール(エリアメール・緊急速報メール)で伝達するルートも整備されています。



【例】直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、国は、「Jアラート」を活用して防災無線で特別なサイレン音とメッセージを流すほか、緊急速報メール等による情報提供を行います。

もしメッセージが流れたら落ち着いて、直ちに行動してください。

**屋外にいる場合** 近くの建物の中や地下に避難する。  
(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

**建物がない場合** 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

**屋内にいる場合** 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

## 弾道ミサイル落下時の行動

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。



政府の最新情報は  
こちらをチェック

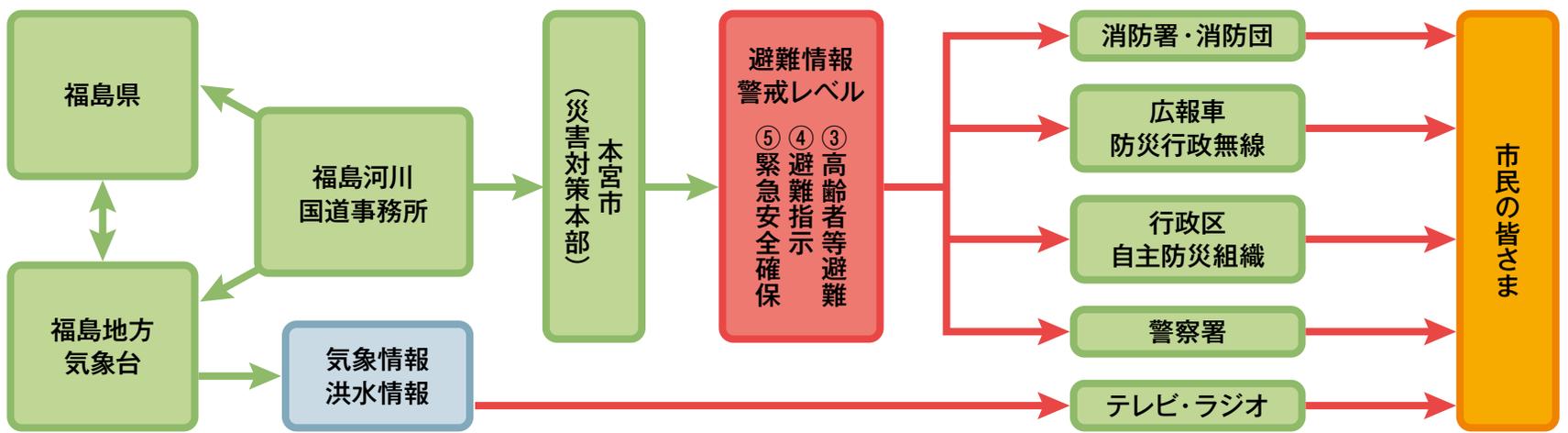


Twitterアカウント 首相官邸災害・危機管理情報  
@Kantei\_Saigai

首相官邸 ホームページ  
www.kantei.go.jp/



# 自然災害時は、皆さまへ次の伝達ルートで情報をお知らせします。



## 災害用伝言ダイヤルの使い方

### 災害用伝言ダイヤルとは？

NTTでは、災害発生時に、被災地への通話がつながりにくい状況の場合、被災地内の安否等の情報を音声で録音、再生する「災害用伝言ダイヤル」を設置します。NTT「災害用伝言板 (web171)」との連携により、伝言内容を相互に確認が可能。「171」をダイヤルし利用ガイダンスに従って、伝言の録音・再生を行って下さい。

伝言の録音	<b>171-1-000-000-0000</b> (被災地の方の電話番号)	伝言保存期間	運用期間終了まで
伝言の再生	<b>171-2-000-000-0000</b> (被災地の方の電話番号)	伝言蓄積数	1電話番号あたり1~20件 (提供時にお知らせいたします)
利用可能電話	加入電話、ISNネット、公衆電話、ひかり電話からご利用できます。 ※ISNネット、ひかり電話でダイヤル式電話をお使いの場合にはご利用になれません。 ※携帯電話やPHS、他通信事業者の電話からのご利用については、ご契約の各通信事業者にお問い合わせ下さい。	伝言内容	1伝言あたり30秒以内

## 気象・防災情報を入手し事前の準備などに生かしましょう。



### 本宮市ホームページ

<https://www.city.motomiya.lg.jp/>



#### ◎気象庁

気象庁が発表する気象情報・地震・津波情報・データ・火山・気候・環境・海洋情報など

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>



#### ◎内閣府「防災情報システム」

全国の地震・津波・気象・河川・被害状況・ライフライン・災害救助や生活支援など

<https://bousai-system.go.jp/index.jsp>



#### ◎気象庁 (気象警報・注意報:本宮市)

気象警報や注意報 (本宮市) を確認出来るウェブサイト

[https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area\\_type=class20s&area\\_code=0721400&lang=ja](https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=class20s&area_code=0721400&lang=ja)



#### ◎NHKあなたの天気・防災(本宮市)

天気や災害情報 (本宮市) をまとめてお伝えするウェブサイト

<https://www.nhk.or.jp/kishou-saigai/city/weather/07214000721400/>



#### ◎国土交通省「川の防災情報」

全国の水位・雨量・レーダー雨量・ダム・水質・積雪深・河川の予警報など

<https://www.river.go.jp/kawabou/ipTopGaikyo.do>  
(スマホ版)  
<https://www.river.go.jp/s/n0105010/>



#### ◎福島県河川流域総合情報システム

雨量・水位状況、気象情報、水防情報、土砂災害警戒情報など

[https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web\\_pub/riverMap\\_1.html](https://kaseninf.pref.fukushima.jp/web_pub/riverMap_1.html)



#### ◎「Yahoo!防災速報」(ヤフー株式会社)

避難情報や緊急地震速報、津波予報、豪雨予報等の災害情報や今後の予報・予測を緊急のお知らせとして通知するヤフー株式会社のサービスです。

<https://emg.yahoo.co.jp/>



#### ◎「キキクル」(危険度分布)の通知サービス

気象庁で公表している、大雨による「土砂災害」「浸水害」「洪水災害」の危険度の高まりを5段階の色分けで地図上に表示する「危険度分布(愛称:キキクル)」。

大雨による危険の高まりをアプリやメールなどで知らせてくれる通知サービスを、気象庁の協力のもと、民間事業者5社が提供しています。  
[https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownbosai/ame\\_push.html](https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownbosai/ame_push.html)

